

## 議案別冊 2

# 小学校教科用図書および小・中学校特別支援 学級教科用図書（一般図書）調査研究報告書

○国語	1
・国語	4
・書写	8
○社会	13
・社会	16
・地図	19
○算数	21
○理科	29
○生活	37
○音楽	46
○図画工作	50
○家庭	54
○体育	59
○外国語	67
○道徳	77
○特別支援	88



# 調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和2年度使用小学校教科用図書の調査研究について（報告）  
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和 元年 7月 17日

第9地区教科用図書調査委員会	国 語	小委員会
----------------	-----	------

委員長 吉 田 昌 広



委員 伊 東 翼

委員 湯 浅 啓 介

委員 佐 藤 宏

委員 藤 田 大 之

委員 森 下 和 樹

委員 阿 部 茜

委員 硯 将 隆

委員 目 黒 公 宣

委員

委員

学校種目	小学校	種目	国語・書写	学年	1～6
調査研究経過					<p>&lt;第1回調査委員会&gt;  ○小委員会委員長選出（北見市立中央小学校 吉田昌広校長）</p> <p>○調査研究内容の確認  ・「教科書採択参考資料」を参考に、「調査の観点例」に基づき、具体的な視点を設定した。  ・オホーツク管内としての調査研究の視点を設定した。</p> <p>○今後の調査研究日程の確認  ・第2回（7/9）までに、具体的な視点に沿って各自調査研究し、調査結果を持ち寄る。  ・第3回（7/17）までに、第2回での検討確認を踏まえ、各自調査研究し、調査結果を持ち寄る。</p> <p>○ 調査研究等の役割分担  <b>【国語】</b>  吉田委員（学図、教出）  伊東委員（東書、光村）  藤田委員（光村、東書）  森下委員（教出、学図）  <b>【書写】</b>  湯浅委員（光村、学図、教出）  佐藤委員（東書、日文、光村）  阿部委員（教出、学図）</p> <p>&lt;第2回調査委員会&gt;  ○「国語」について各委員からの調査結果の報告と研究協議  10：00～13：00</p> <p>（1）「取扱内容」について  伊東委員：各者とも、古典の教材を声に出して読んだり発表を聞いたりすることで、古典を味わい親しみを感じることができるように工夫されている。  森下委員：各者とも、学習の手引きにおいて、学習過程を明らかに示すように工夫されている。  吉田委員：各者とも、話し合う活動に身近な話題を取り上げるなど、児童が生活とのかかわりを意識しながら楽しく学ぶことができるように工夫されている。  藤田委員：各者とも、高学年ではテキストに加え図やグラフ、写真など多様な資料を活用して、目的や相手に応じたまとめをするように工夫されている。</p> <p>（2）「構成・排列、分量等」について  森下委員：各者とも、児童の発達の段階を踏まえた指導事項や言語活動を取り扱い、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるように工夫されている。  硯 委員：各者とも、総ページ数の増加が目立っており、児童</p>

	<p>の持ち帰りに配慮することが必要ではないか。</p> <p>(3) 「使用上の配慮等」について  吉田委員：各者とも、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元の始めにおいて、学習過程を示すなど、見通しをもって学べるように工夫されている。</p> <p>○「書写」について各委員からの調査結果の報告と研究協議  13：00～14：00</p> <p>(1) 「取扱内容」について  阿部委員：各者とも、点画の形と筆の動きや筆圧の強弱、点画相互の接し方や文字同士のつながりを意識して書くように工夫されている。</p> <p>(2) 内容の構成・排列、分量等  佐藤委員：各者とも、書写で身に付けた力が国語や他教科等、日常生活に生きて働くように工夫されている。</p> <p>(3) 使用上の配慮等  湯浅委員：東書者、教出者、日文者、光村者は、低学年の教科書に水筆シートを取り入れ、筆使いを繰り返し体感できるように工夫されている。  佐藤委員：各者とも、朱墨を用いて、穂先の通り道が明快になるように工夫されている。  阿部委員：学図者、教出者、光村者については、6年生の巻末で行書について取り上げ、中学校への意欲をもたせるように工夫されている。</p> <p>○調査研究報告書の作成  14：00～16：00  ・調査の観点について、小委員会としての調査研究の内容を記述した。</p> <p>&lt;第3回調査委員会&gt;  ○各委員からの調査結果の報告と研究協議 10：00～12：00  ※第2回に引き続き、調査研究の報告を行う。</p> <p>(1) 「取扱内容」について  目黒委員：各者とも、主体的な学びを意識し、対話で学習が深まるように工夫されている。</p> <p>(2) 使用上の配慮等  阿部委員：各者とも、QRコードなどでデジタルコンテンツを活用できるように工夫されている。  硯 委員：各者とも、単元の学習過程を明らかにするなど、教科書で指導しやすくなっているが、教師の教材研究は大切にされなければならない。</p> <p>○調査研究報告書の作成  13：00～16：00  ・調査の観点について、小委員会としての調査研究の内容を記述した。</p>
少数意見及び参考となる事項	特になし。

# 国語科調査研究報告書

書名 観点	東京書籍			新しい国語		
	101	201	301	401	501	601
	102	202	302	402		
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ [知識及び技能] の内容については、例えば、第3,4学年では、ことわざや故事成語について知り、意味や使い方を調べカードにまとめたり、相手や場面に応じた敬語について考えたりする活動などを取り上げており、日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けることができるようになっている。</li> <li>○ 話すこと・聞くことについては、例えば、第3,4学年では、メモを基に話の順序を組み立て話す活動や司会や書記などの役割を決めて話し合う活動を取り上げており、目的意識を明確にして、日常生活における人とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようになっている。</li> <li>○ 書くことについては、例えば、第1,2学年では、メモを基に様子を伝える文章や身の回りの人を紹介する文章を書く活動を取り上げており、日常生活における人との関わりの中で、伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようになっている。</li> <li>○ 読むことについては、例えば、第5,6学年では、新聞記事を読み比べる活動や伝記を読み人物像を捉えて感想文を書く活動などを取り上げており、日常生活における人との関わりの中で、自分の思いや考えを広げることができるようになっている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、考えを広げたり深めたりすることができるように工夫されている。例えば、第5学年の「反対の立場を考えて意見文を書こう」では、反対意見を予想して対応を考える活動など、が取り扱われている。</li> </ul>					
内容の 排 列 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成については、第1学年では、学校のことを紹介する活動や身近な人に行事を案内する手紙を書く活動など、児童の興味関心に配慮されている。</li> <li>○ 内容の排列については、第1学年では、出来事の順序を考えて話す活動、第2学年で、伝えたいことを選んで話の構成を考えて話す活動を取り扱うなど、第2学年を通じて系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量については、第5学年では、「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は16教材、「読むこと」は13教材であり、総ページ数は303ページで前回より約2%増となっている。</li> </ul>					
使用上の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年では、友達に好きな教科について伝える活動を取り入れ、相手意識や目的意識を明確にするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。</li> <li>○ 身に付けたい「言葉の力」を明確にしたり、「ふり返る」で学習したことを確かめて成長を実感できるようにしたりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。</li> <li>○ 巻頭に「国語の学習の進め方」や「言葉の力」を設け、年間を通して学習することを明確にするなど工夫されている。</li> </ul>					
その他						

# 国語科調査研究報告書

書名 観点	学校図書 みんなと学ぶ 小学校国語					
	103	204	303	403	503	603
	104	204	304	404	504	604
取 扱 内 容	<p>○ [知識及び技能] の内容については、例えば第3,4学年では、ことわざや故事成語の意味を国語辞典で調べ昔から言い伝えられてきた言葉に触れる活動などを取り上げており、活動を楽しみながら、言葉の由来や変化について学ぶことができるようになってきている。</p> <p>○ 話すこと・聞くことについては、例えば第3,4学年では、学級会で役割を決めて話し合う活動や、互いの意見の共通点や相違点に着目する活動などを取り上げており、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようになってきている。</p> <p>○ 書くことについては、例えば第1,2学年では、観察して気が付いたことを書く活動や、二つのものを比べて分かったことを文書にまとめる活動などを取り上げており、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようになってきている。</p> <p>○ 読むことについては、例えば第5,6学年では、伝記を読み人物像を捉える活動や筆者の主張について友達と意見を共有する活動などを取り上げており、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようになってきている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元末に「学習のてびき」を設け、見通しと振り返りの活動や、学び合いの活動ができるように工夫されている。例えば第3学年では、「へんかのきっかけを読もう」の単元において、課題を確認し、登場人物の気持ちの変化を考え感想を話し合う活動などが取り扱われている。</p>					
内容 の構 成排 成列・ 分量 等	<p>○ 内容の構成については、説明文教材のあとに「書くこと」の教材を設定し、読解による資質・能力が書く力につながるように配慮されている。</p> <p>○ 内容の排列については、第3学年では、文章構成を考えて報告文を書く活動、第4学年では、見学したことの中心を明らかにして新聞にまとめる活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるように工夫されている。</p> <p>○ 内容の分量については、第5学年では、「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は15教材、「読むこと」は15教材であり、総ページ数は336ページで前回と同じとなっている。</p>					
使用 上の 配 慮等	<p>○ 第4学年では、お世話になった人に礼状を書く活動を取り入れ、相手意識や目的意識を明確にするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。</p> <p>○ 全学年の最後の単元に「〇年生をふり返って」を位置付け、一年間の学びを振り返り今後の学習に生かすことができるようにするなど、児童が主体的に取り組めるように工夫されている。</p> <p>○ 上巻の巻頭に「見つける・見つめる」を掲載し、身の回りから語彙や出来事を書きためることができるようにするなど工夫されている。</p>					
その他						

## 国語科調査研究報告書

書名 観点	教育出版 ひろがる言葉 小学国語					
観点	1 0 5	2 0 5	3 0 5	4 0 5	5 0 5	6 0 5
観点	1 0 6	2 0 6	3 0 6	4 0 6	5 0 6	6 0 6
取 扱 内 容	<p>○ [知識及び技能] の内容については、例えば第3,4学年では、ことわざや故事成語を集めて意味を調べカードにまとめる活動などを取り上げており、日常生活に必要な国語の知識を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになっている。</p> <p>○ 話すこと・聞くことについては、例えば第3,4学年では、メモを基に話の構成を考えて発表する活動や司会や提案者などの役割を決めて話し合う活動などを取り上げており、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めることができるようになっている。</p> <p>○ 書くことについては、例えば第1,2学年では、メモを基に見つけたことを書く活動や町探検で見つけたことを報告する文章を書く活動を取り上げており、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めることができるようになっている。</p> <p>○ 読むことについては、例えば第5,6学年では、印象に残った本を推薦する活動や伝記を読み人物の生き方について考える活動などを取り上げており、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようになっている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元末に「～よう（てびき）」を設け、学習課題を設定し、見通しをもたせることができるように工夫されている。例えば、第3学年では、「だんらくの要点をつかもう」の単元において文章を段階的に読み深め、段落の要点を整理したり、文章を読み分かったことを友達と交流したりする活動などが取り扱われている。</p>					
内容の 排列、 構成・ 分量等	<p>○ 内容の構成については、第1学年では、夏休みの出来事を思い出しながら質問し合う活動など、児童の生活経験を活かせるように配慮されている。</p> <p>○ 内容の排列については、第5学年で、根拠となる資料を用いて意見文を書く活動、第6学年で、理由や根拠を示して説得力のある意見文を書く活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるように工夫されている。</p> <p>○ 内容の分量については、第5学年で、「話すこと・聞くこと」は8教材、「書くこと」は24教材、「読むこと」は13教材であり、総ページ数は332ページで前回より約8%増となっている。</p>					
使用上の 配慮等	<p>○ 第4学年では、写真や図表を使い他学年の人たちに伝える新聞を作る活動を取り上げるなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。</p> <p>○ 全学年において「～よう（てびき）」に学習の進め方や児童の対話例を示したり、「ここが大事」に汎用性のある学習のポイントを紹介したりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。</p> <p>○ 巻頭に「○学年で学ぶこと」を設け、学習内容を概観することができるようにするなど工夫されている。</p>					
その他						

# 国語科調査研究報告書

書名 観点	光村図書 国語					
	107	207	307	407	507	607
観 点	108	208	308	408		
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「知識及び技能」の内容については、例えば第3,4学年では、ことわざや故事成語の意味を国語辞典などで調べ、昔から言い伝えられてきた言葉に触れる活動などを取り上げており、活動を楽しみながら、言葉の意味や由来について学ぶことができるようになってきている。</li> <li>○ 話すこと・聞くことの内容については、例えば第3,4学年では、伝えたいことを理由を挙げて話す活動や司会や記録係などの役割を決めて話し合う活動などを取り上げており、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようになってきている。</li> <li>○ 書くことの内容については、例えば第1,2学年では、生き物について報告する文章を書く活動やおもちゃの作り方を説明する活動などを取り上げており、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようになってきている。</li> <li>○ 読むことの内容については、例えば第5,6学年では、伝記を読み自分の生き方について考える活動や複数の文章を読み考えたことを交流する活動などを取り上げており、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようになってきている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、例えば第1,2学年では、単元の最後に「がくしゅう」を設け、本を読みわかったことを友達に知らせることで考えを広げたり、深めたりすることができるよう工夫されている。第2学年では、おはなしを読み、やくにわかれて音読する活動などが取り扱われている。</li> </ul>					
内 容 の 排 列 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成については、例えば第2学年では、楽しかったことなどについて順序を考えて発表できるように配慮されている。</li> <li>○ 内容の排列については、第1学年では好きなものとその理由について話す活動、第2学年では楽しかったことなどについて順序を考えて発表する活動を取り扱うなど、2学年を通して系統的・発展的に学習できるように工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量については、例えば第5学年では、「話すこと・聞くこと」は5教材「書くことは」17教材、「読むこと」は12教材であり、総ページ数は296ページで前回より約4%増となっている。</li> </ul>					
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年では、家の人に学校にいる生き物を知らせる活動を取り上げるなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。</li> <li>○ 「学習」で読みの学習過程を明示したり（第2～6学年）「学習の進め方」で明確な見通しをもって学ぶことができるようにしたりする活動（第2～6学年）など、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。</li> <li>○ 巻末の付録に「学習を広げよう」を掲載し、他教科や日常生活に広げて活用できるようにするなど工夫されている。</li> </ul>					
そ の 他						

## 国語科（書写）調査研究報告書

書名 観点	東京書籍 新しい書写  1 0 1   2 0 1   3 0 1   4 0 1   5 0 1   6 0 1
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 硬筆については、文字を正しく書く（第1,2学年）、配列に注意して書く（第3,4学年）、配列を意識して書く（第5,6学年）ことを各学年の目標としている。例えば、第1,2学年では、文字を比べ、画の長さや方向の違いを確かめたり、画の接し方や交わり方などに気を付けて書いたりするなど、文字を正しく書くことができるようになってきている。</li> <li>○ 毛筆については、点画の種類を理解し筆圧などに注意して書く（第3,4学年）、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く（第5,6学年）ことを各学年の目標としている。例えば、第5,6学年では、漢字や平仮名の題材で、終筆から始筆への動きなど、点画相互、文字相互のつながりを確かめるなど、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くことができるようになってきている。</li> <li>○ 硬筆と毛筆の関連については、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける（第3～6学年）ことを各学年の目標としている。例えば、第3,4学年では、点画の種類や書き方、部首と部首の組立て方など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書くなど、硬筆による書写の能力の基礎を身に付けることができるようになってきている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、課題を設定し、見通しをもたせるとともに、はがきを書く活動を行い、これまでの学習をどのように生かしたか友達と話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動ができるように工夫されている。例えば、第3学年では、「はがきでつたえよう」などが取り扱われている。</li> </ul>
内容の 排列、 構成・ 分量等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成については、例えば、第6学年では、漢詩「春暁」など国語の教科書から取り入れたり、インタビューのメモの取り方やポスターの書き方を示したりするなど、学んだことを日常生活に生かすように配慮されている。</li> <li>○ 内容の排列については、例えば、第5学年では、点画の組立て方や配列を確かめた後に、目的に応じて筆記具を選択し、様々な用紙に書く活動について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量については、例えば、第4学年では、硬筆は16ページ、毛筆は25ページであり、総ページ数は53ページで、前回より約8%増になっている。</li> </ul>
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題解決のヒントを与えるキャラクターが登場したり（全学年）、手紙を書く学習（第2学年）や古文を視写する学習（第5学年）などの国語の学習との関連を図ったりするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。</li> <li>○ 学習過程を分かりやすく図解した「書写の学び方」を掲載したり（第2学年以上）、教材ごとに自己評価のための「振り返って話そう」を設けたり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。</li> <li>○ 指導事項を説明した「集めて使おう、書写のかぎ」を掲載したり（全学年）、カラーバリアフリーへの配慮をしたり（全学年）するなど工夫されている。</li> </ul>
その他	

## 国語科（書写）調査研究報告書

書名 観点	学校図書 みんなと学ぶ小学校書写  102 202 302 402 502 602
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 硬筆については、文字を正しく書く（第1,2学年）、配列に注意して書く（第3,4学年）、配列を意識して書く（第5,6学年）ことを各学年の目標としている。例えば第1,2学年では、画の長さや方向の違いを確かめたり、点画相互の間や交わり方、接し方などに気を付けて書いたりする活動を通して文字を正しく書くことができるようになっている。</li> <li>○ 毛筆については、点画の種類を理解し筆圧などに注意して書く（第3,4学年）、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く（第5,6学年）ことを各学年の目標としている。例えば、第5,6学年では、平仮名や漢字仮名交じりの題材で、点画のつながりと筆順との関連を確かめる活動などを取り上げており、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くことができるようになっている。</li> <li>○ 硬筆と毛筆の関連については、硬筆による書写の能力を身につける（第3～6学年）ことを各学年の目標としている。例えば第3,4学年では、点画の方向や間隔、画の長短及び字形の整え方など毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動などを取り上げており、硬筆による書写の能力の基礎を身に付けることができるようになっている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、漢字と平仮名の筆使いの違いに注意して書くという課題を設定し、見通しを持たせるとともに、始筆や方向に気を付けて書く活動を行い、これまでの学習を振り返るなど、考えを広げたり深めたりする活動ができるように工夫されている。例えば、第3学年では、「ひらがな」などが取り扱われている。</li> </ul>
内 容 の 排 列 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成については、例えば、第6学年では、「はがき・原稿用紙・手紙の書き方」で、日常生活に関連したより実用的な書式を学ぶことができるように配慮されている。</li> <li>○ 内容の排列については、例えば、第5学年では、穂先の動きと点画のつながりや字形の整え方を確かめた後に、用紙に合った文字の大きさについて取り扱うなど系統的・発展的に学習できるように工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量については、例えば、第4学年では、硬筆は18ページ、毛筆は22ページであり、総ページ数は59ページで、前回より約31%増になっている。</li> </ul>
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 俳句を視写する学習（第3学年）や文字教材を視写する学習（第5学年）などの国語の学習との関連が図られており、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。</li> <li>○ 学習過程をわかりやすく示した「学習の進め方」を掲載したり（全学年）、実際に文字を書き込む自己評価を設けたり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。</li> <li>○ 巻頭・巻末に学習のめあてや学習内容を一覧で示したり、ユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）するなど工夫されている。</li> </ul>
その他	

# 国語科（書写）調査研究報告書

書名 観点	教育出版 小学書写 103 203 303 403 503 603
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 硬筆については、文字を正しく書く（第1,2学年）、配列に注意して書く（第3,4学年）、配列を意識して書く（第5,6学年）ことを各学年の目標としている。例えば、第1,2学年では、文字を比べ、画の方向の違いを確かめたり、画相互の間や画の長さに気を付けて書いたりするなど、文字を正しく書くことができるようになっている。</li> <li>○ 毛筆については、点画の種類を理解し筆圧などに注意して書く（第3,4学年）、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く（第5,6学年）ことを各学年の目標としている。例えば、第5,6学年では、平仮名や漢字仮名交じりの文言の題材で、文字の大きさや配列と関連付けて、文字のつながりを確かめるなど、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くことができるようになっている。</li> <li>○ 硬筆と毛筆の関連については、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける（第3～6学年）ことを各学年の目標としている。平仮名の筆使い、文字の組立て及び字形を整える、文字どうしの大きさや配列、点画のつながりなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付けることができるようになっている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、字間、行間、配列などに気を付けるなど課題を設定し、見通しをもたせるとともに学習内容を発表する資料を書く活動を行い、内容を分かりやすく伝える工夫について伝え合うなど、考えを広げたり深めたりすることができるよう工夫されている。例えば、第4学年では、「レッツ・トライ」などが取り扱われている。</li> </ul>
内 容 の 排 列 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成については、例えば、第6学年では、「枕草子」など国語の教科書から取り入れるなど、学んだことを日常生活に活かすように配慮されている。また、北海道にかかわりの深い教材が1点取り上げられている。</li> <li>○ 内容の排列については、例えば、第5学年では、文字の組立て方や穂先の動き、筆順と字形を確かめた後に、文字の大きさや点画のつながりについて取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量については、例えば、第4学年では、硬筆は21ページ、毛筆は28ページであり、総ページ数は61ページで、前回より約7%増となっている。</li> </ul>
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文学教材を視写する学習（第2学年）や新聞を書く学習（第4学年）などの国語の学習との関連を図ったりするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。</li> <li>○ 学習過程を分かりやすく示した「学習の進め方」（全学年）や教材ごとに自己評価欄を設ける（全学年）など、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。</li> <li>○ 巻頭文字に関連したコラムを掲載したり（第3学年以外）、色覚等の特性をふまえた判読しやすい配色を使用したり（全学年）するなど工夫されている。</li> </ul>
そ の 他	

## 国語科（書写）調査研究報告書

書名 観点	光村図書 書写  1 0 4    2 0 4    3 0 4    4 0 4    5 0 4    6 0 4
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 硬筆については、文字を正しく書く（第1,2学年）、配列に注意して書く（第3,4学年）、配列を意識して書く（第5,6学年）ことを各学年の目標としている。例えば第1,2学年では、文字を比べて、画の長さや方向の違いを確かめたり、画の付き方や交わり方などに気を付けて書いたりする活動を通して文字を正しく書くことができるようになっている。</li> <li>○ 毛筆については、点画の種類を理解し筆圧などに注意して書く（第3,4学年）、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く（第5,6学年）ことを各学年の目標としている。例えば、第5,6学年では、平仮名や漢字仮名交じりの題材で、点画相互、文字相互のつながりを確かめる活動などを取り上げており、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くことができるようになっている。</li> <li>○ 硬筆と毛筆の関連については、硬筆による書写の能力を身につける（第3～6学年）ことを各学年の目標としている。例えば第3,4学年では、点画の筆使い、字形の整え方及び文字の配列など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動などを取り上げており、硬筆による書写の能力の基礎を身に付けることができるようになっている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、課題を設定し、見通しをもたせるとともに、調べたことを紹介するような書く活動を行い、内容や見やすさなどの観点で友達と読み合うなど、考えを広げたり深めたりする活動ができるように工夫されている。例えば、第4学年では、「リーフレットの書き方」などが取り扱われている。</li> </ul>
内 容 の 排 列 ・ 構 成 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成については、例えば、第6学年では「伝えるって、どういうこと？」でポスターでの文字の大きさや配列を示し、実用的な書式において分かりやすく伝えるための工夫について考えるように配慮されている。</li> <li>○ 内容の排列については、例えば、第5学年では、穂先の動きや点画のつながりと字形、文字の組立て方を確かめた後に、用紙に合った文字の大きさについて取り扱うなど系統的・発展的に学習できるように工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量については、例えば、第4学年では、硬筆は16ページ、毛筆は19ページであり、総ページ数は53ページで、前回より約8%増になっている。</li> </ul>
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 原稿用紙に書く学習（第2学年）や短歌を作って書く学習（第6学年）などの国語の学習との関連が図られており、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。</li> <li>○ 学習過程をわかりやすく示した「学習の進め方」を掲載したり（全学年）、教材ごとに学習内容についての自己評価欄を設けたり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。</li> <li>○ 巻頭に文字に関連したコラムを掲載したり（第3学年以外）、色覚等の特性をふまえた判読しやすい配色を使用したりするなど工夫されている。</li> </ul>
そ の 他	

## 国語科（書写）調査研究報告書

書名 観点	日本文教出版 小学書写  1 0 5    2 0 5    3 0 5    4 0 5    5 0 5    6 0 5
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 硬筆については、文字を正しく書く（第1,2学年）、配列に注意して書く（第3,4学年）、配列を意識して書く（第5,6学年）ことを各学年の目標としている。例えば、第1,2学年では、誤った文字と比べ、画の方向の違いを確かめたり、画の接し方や交わり方などに気を付けて書いたりするなど、文字を正しく書くことができるようになってきている。</li> <li>○ 毛筆については、点画の種類を理解し筆圧などに注意して書く（第3,4学年）、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く（第5,6学年）ことを各学年の目標としている。例えば、第5,6学年では、漢字や漢字仮名交じりの文言の題材で、正しい筆順を意識し、点画から点画へのつながりを確かめたりするなど、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くことができるようになってきている。</li> <li>○ 硬筆と毛筆の関連については、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける（第3～6学年）ことを各学年の目標としている。例えば、第3,4学年では、漢字、平仮名及び片仮名の筆使い、点画の種類、及び文字の組立てなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書くなど、硬筆による書写の能力の基礎を身に付けることができるようになってきている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、課題を設定し、見通しをもたせるとともに、本を紹介するリーフレットを書く活動を行い、読みやすくするための工夫について伝え合うなど、考えを広げたり深めたりする活動が工夫されている。例えば、第4学年では、「お気に入りの本をしょうかいしよう」などが取り扱われている。</li> </ul>
内 容 の 排 列 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成については、例えば、第6学年では、「五・七・五で、自分の思いを表現しよう」など国語の教科書から取り入れるなど、学んだことを日常生活に生かすように配慮されている。また、北海道にかかわりの深い教材が1点ある。</li> <li>○ 内容の排列については、例えば、第5学年では、字形の整え方や、穂先の動きと点画のつながりを確かめた後に、文字の大きさや配列について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量については、例えば、第4学年では、硬筆は21ページ、毛筆は27ページであり、総ページ数は56ページで、前回より約8%増になっている。</li> </ul>
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題解決のヒントを与えるキャラクターが登場したり（全学年）、本を紹介する学習（第4学年）や提案文を書く学習（第5学年）などの国語の学習との関連を図ったりするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。</li> <li>○ 学習過程を分かりやすく示した「書写学習の進め方」を掲載したり（全学年）、教材ごとに学習内容についての自己評価欄を設けたり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。</li> <li>○ 巻頭に当該学年の指導事項を児童向けに示した「○年生の目標」の掲載（全学年）や、左利きでも視写できるレイアウト（全学年）など工夫されている。</li> </ul>
その他	

## 調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和2年度使用小学校教科用図書の調査研究について（報告）  
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和元年 7月 17日

第9地区教科用図書調査委員会	社 会	小委員会
----------------	-----	------

委員長 伊 井 俊 明



委員 三 村 尚 広

委員 川 上 栄多加

委員 中 嶋 絹 枝

委員 鹿野内 義 宣

委員 村 上 陽 一

委員 成 田 弘 毅

委員 大 江 學

委員 岡 村 金 司

委員

委員

学校種目	小 学 校	種 目	社 会 地 図	学 年	3～6年
調査研究経過	<p>&lt;第1回調査委員会&gt; 7月2日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小委員会委員長の選出（北見市立美山小学校 伊井俊明）</li> <li>○調査研究内容の確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>①「教科書採択参考資料」を参考に、「調査の観点例」に基づき、具体的な視点を設定した。</li> <li>②オホーツク管内としての調査研究の視点を設定した。</li> </ul> </li> <li>○今後の調査研究日程の確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回（7/9）までに、具体的な視点に沿って各自調査研究し、調査結果を持ち寄る。</li> <li>・調査研究の視点をもとに、調査報告書を作成する。</li> <li>・第3回（7/17）までに、第2回での検討確認を踏まえ、各自調査研究し、調査結果を持ち寄る。</li> </ul> </li> <li>○調査研究等の役割分担 <ul style="list-style-type: none"> <li>①社会 <ul style="list-style-type: none"> <li>教育出版（三村委員、川上委員）</li> <li>東京書籍（成田委員、中嶋委員）</li> <li>日本文教出版（村上委員、鹿野内委員）</li> </ul> </li> <li>②地図 <ul style="list-style-type: none"> <li>東京書籍、帝国書院（全員で調査研究を行う。）</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;第2回調査委員会&gt; 7月9日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各委員からの調査結果の報告と研究協議 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)「取扱内容」について <ul style="list-style-type: none"> <li>①「地域社会に関する内容」について <ul style="list-style-type: none"> <li>・各者、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うような学習活動を取り上げている。</li> </ul> </li> <li>②「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」について <ul style="list-style-type: none"> <li>・各者、学習問題を設定し、児童に見通しを持たせるとともに、話し合いを通し、考えを広げたり深めたりするような学習活動が取り上げられている。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>(2)「内容の構成・排列、分量等」について <ul style="list-style-type: none"> <li>①「内容の構成」について <ul style="list-style-type: none"> <li>・各者、地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。</li> </ul> </li> <li>(3)「使用上の配慮等」について <ul style="list-style-type: none"> <li>①「学習意欲を高める工夫」について <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京書籍は札幌市について、教育出版と日本文教出版は旭川市の事例を掲載し、児童の学習意欲が高める工夫がされている。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○調査研究報告書の原案の作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 調査研究の視点をもとに作成した調査報告書について、記述量、文末表現をそろえた。</li> </ul> </li> </ul> </li></ul>				

	<p>&lt;第3回調査委員会&gt; 7月17日</p> <p>○調査研究の概要</p> <p>(1) 社会</p> <p>①「取り扱い内容」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域社会に関する内容」については第4学年、「我が国の国土と産業に関する内容」については第5学年、「我が国の政治と歴史、国際理解に関する内容」については第6学年に絞り調査報告書を作成した。</li> <li>・「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、第3学年に絞り、調査報告書を作成した。</li> </ul> <p>②「内容の構成・排列、分量等」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「内容の構成・排列」については、第5学年の内容について調査報告書を作成した。</li> <li>・「内容の分量」については、各学年の総ページ数を報告書に記載した。</li> </ul> <p>③「使用上の配慮等」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「使用上の配慮等」については、「児童の学習意欲を高める工夫」と、「児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫」を観点とし、調査報告書を作成した。</li> </ul> <p>(2) 地図</p> <p>①「取り扱い内容」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「身近な地域や市区町村の地理的環境を理解することについて」、「我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状を理解することについて」、「優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割を理解することについて」を観点とし調査報告書を作成した。</li> <li>・「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について」は、「児童が見通しをもって学習問題の解決に取り組むことができる工夫」や、「児童が社会的事象に自ら着目したり、考えたりできるようにする工夫」を観点とし、調査報告書を作成した。</li> </ul> <p>②「内容の構成・排列、分量等」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「内容の構成・排列」については、「系統的・発展的に学習できるような工夫」を観点とし、調査報告書を作成した。</li> <li>・「内容の分量については、総ページ数は120ページを報告書に記載した。</li> </ul> <p>③「使用上の配慮等」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「使用上の配慮等」については、「児童の学習意欲を高める工夫」、「児童が主体的に学習に取り組めるような工夫」を観点とし、調査報告書を作成した。</li> </ul> <p>○調査研究報告書の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査研究の観点について、小委員会としての調査研究の内容を記述した。</li> </ul>
<p>少数意見及び参考となる事項</p>	<p>特になし。</p>

## 社会科調査研究報告書

書名 観点	東京書籍 新しい社会 301 401 501 502 601 602
取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域社会に関する内容については、第4学年において、地震や風水害などの自然災害から人々を守る活動について調べたり、伝統芸能や用水路の開発など、地域の発展に尽くした人々について調べたりする活動を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 我が国の国土と産業に関する内容については、第5学年において、地球儀や地図帳を用いて北方領土等の日本の国土の様子について調べたり、米づくりに関わる人々の生産性や品質を高める努力について調べたりする活動を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養うような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 我が国の政治と歴史、国際理解に関する内容については、第6学年において、国会や内閣の働きからわが国の政治が国民生活に果たす役割について調べたり、世界地図を用いて大陸からの文化の伝播について調べたりする活動を通して、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きる大切さについて自覚を養うような学習活動を取り上げ目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第3学年では、市の移り変わりの学習において、学習問題を設定し、児童に見通しを持たせるとともに、市の交通網の発展や土地利用の変化について調べ、これからの市の発展について話し合い、考えを広げたり深めたりするような学習活動が取り上げられている。</li> </ul>
内容の 排列、 構成・ 分量等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、第5学年では、我が国の国土の様子と国民生活の学習において、地形に特色ある地域に住む人々の生活、気候に特色のある地域に住む人々の生活の事例を取り上げるなど、地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるように構成し、系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。</li> <li>○ 内容の分量については総ページ数で、第3学年が148ページ、第4学年が180ページ、第5学年で272ページ、第6学年で276ページとなっている。(判型はA B判)</li> </ul>
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第5学年においては、寒い土地の暮らしにかかわる学習においては、雪と共に暮らす札幌市民の事例を掲載するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 第6学年においては、日本国憲法の学習の前に、暮らしの中にある法やきまりを既習内容から振り返る活動を設定するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>

# 社会科調査研究報告書

書名 観点	教育出版 小学社会 303 403 503 603
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域社会に関する内容については、第4学年において、地震や火山の噴火などの自然災害から人々を守る活動について調べたり、伝統芸能や新田開発など、地域の発展に尽くした人々について調べたりする活動を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 我が国の国土と産業に関する内容については、第5学年において、地球儀や地図帳を用いて北方領土等の日本の国土の様子について調べたり、米づくりに関わる人々の安全性や品質を高める努力について調べたりする活動を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養うような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 我が国の政治と歴史、国際理解に関する内容については、第6学年において、地域の子育て支援やその制度の成立過程から我が国の政治の働きについて調べたり、開国後の日本の発展と世界経済とのかかわりについて調べたりする活動を通して、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養うような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第3学年では、市の様子の移り変わりの学習において、学習問題を設定し、児童に見通しをもたせるとともに、交通網の発達や土地利用の変化について調べ、市がどのように変わっていくのがよいかについて話し合い、考えを広げたり深めたりするような学習活動が取り上げられている。</li> </ul>
内 容 の 排 列 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、第5学年では、我が国の国土の様子と国民生活について、気候に特色のある地域に住む人々の生活、地形に特色のある地域に住む人々の生活の事例を取り上げるなど、地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。</li> <li>○ 内容の分量については総ページ数で、第3学年で172ページ、第4学年で214ページ、第5学年で252ページ、第6学年で276ページとなっている。(判型はA B判)</li> </ul>
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第5学年においては、自然条件と人々の暮らしにかかわる学習において、踏切前にロードヒーティングを設置している旭川市の事例を掲載するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 第6学年においては、パラリンピックの選手の生活から福祉について考える場面を設定したり、多文化共生社会の実現に向けて話し合う活動を設定したりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>

## 社会科調査研究報告書

書名 観点	日本文教出版 小学社会 304 404 504 604
取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域社会に関する内容については、第4学年において、水害や津波などの自然災害から人々を守る活動について調べたり、産業や医療などの面から地域の発展に尽くした人々について調べたりする活動を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 我が国の国土と産業に関する内容については、第5学年において、地球儀や地図帳を用いて北方領土等の日本の国土の様子について調べたり、米づくりに関わる人々の品質や出荷量を高める努力について調べたりする活動を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養うような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 我が国の政治と歴史、国際理解に関する内容については、第6学年において、地方自治から我が国の政治が国民生活に果たす役割について調べたり、能や狂言、茶の湯など現代に伝わる室町文化について調べたりする活動を通して、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養うような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第3学年では、市の様子の移り変わりの学習において、学習問題を設定し、児童に見通しをもたせるとともに、昔の交通や土地利用、生活道具の時期による違いについて調べ、これからの市の発展について話し合い、考えを広げたり深めたりするような学習活動が取り上げられている。</li> </ul>
内容の 排列、 構成・ 分量等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、第5学年では、我が国の国土の様子と国民生活について、気候に特色のある地域に住む人々の生活、地形に特色のある地域に住む人々の生活の事例を取り上げるなど、地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。</li> <li>○ 内容の分量については総ページ数で、第3学年で158ページ、第4学年で196ページ、第5学年で280ページ、第6学年で270ページとなっている。 (判型はA B判)</li> </ul>
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第5学年においては、寒い土地の暮らしにかかわる学習において、寒さや雪を防ぐ工夫をしている旭川市の事例を掲載するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 第6学年においては、我が国の政治の働きの学習の後に、自分や学校の生活と憲法や選挙などとの関係を考える活動を設定するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>

## 地図（社会科）調査研究報告書

書名 観点	東京書籍 新しい地図帳 301
取 扱 内 容	<p>○ 各学年の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域や市区町村の地理的環境を理解することについては、「地図帳の使い方」を活用して、方位や地図記号を理解したり、「日本列島広域地図」において、都道府県における自分たちの住む市（区町村）の位置、市（区町村）の地形や土地利用、交通の広がり調べたりする活動。</li> <li>・我が国の国土の地理環境の特色や産業の現状を理解することについては、「日本とそのまわり」を活用して、世界の中における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを理解したり、「日本の資料地図」において、国内の主な農業生産や工業生産の盛んな地域の分布や輸出・輸入相手国の位置などを調べたりする活動。</li> <li>・優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割を理解することについては、「日本の歴史と文化」を活用して、日本の世界遺産について調べたり、「世界の地図」や「世界のおもな国の統計」を活用して、我が国と他国のかかわりを調べたりする活動。</li> </ul> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冒頭の世界と日本のイラストマップで学習意欲を喚起したり、キャラクターの吹き出しで地図活用の手掛かりを示したりすることで、児童が見通しをもって学習問題の解決に取り組むことができる工夫。</li> <li>・知床など日本のすべての世界遺産（自然・文化）を写真付きで取り上げるなど地域の資源に目を向けたり保護・活用を考えたりできるようにする工夫。</li> </ul>
内 容 の 排 列 ・ 分 量 等	<p>○ 内容の構成・排列については、巻頭の「地図のぼうけんに出発!」、「発見! わたしたちの日本」で学習意欲を喚起した後に「日本の47都道府県」、「地図帳の使い方」で地図帳の使用方法について学び、「日本列島広域図」、「日本の一般図」、「都市圏図」、「世界の地図」を取り扱うとともに、「資料・統計」を掲載し、系統的・発展的に学習できるように工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「地図帳の使い方」が10ページ、「日本全図」が8ページ、「日本の地方図」が33ページ、「世界の地図」が20ページ、「資料・統計」が31ページであり、総ページ数は102ページとなっている。</p>
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 写真やイラスト等の多様な表現を用いたり、アイヌ語に由来する地名や、北海道の広さをほかの都府県と比較する活動を掲載したりするなど、児童の学習意欲を高めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 「キャラクターのセリフ」により、地図の活用の着目点を示したり、学習内容を補完する指示問題を位置付けたりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p>
その他	<p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

## 地図（社会科）調査研究報告書

書名 観点	帝国書院 楽しく学ぶ 小学生の地図 302
取 扱 内 容	<p>○ 各学年の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域や市区町村の地理的環境を理解することについては、「地図帳の使い方」を活用して、方位や地図記号を理解したり、「広く見わたす地図」において、都道府県における自分たちの住む市（区町村）の位置、市（区町村）の地形や土地利用、交通の広がりなどを調べたりする活動。</li> <li>・我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状を理解することについては、「日本の領土とそのまわり」を活用して、世界の中における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを理解したり、資料図「日本の産業のようす」において、国内の主な農業生産や工業生産の盛んな地域の分布や輸出・輸入相手国の位置などを調べたりする活動。</li> <li>・優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割を理解することについては、「日本の歴史と世界文化遺産」を活用して、それらを関連付けて調べたり、「世界の地図」や「日本と世界の結びつき」を活用して、外国とのかかわりを調べたりする活動。</li> </ul> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雪の多い都市の工夫を示した札幌市中心部の地図で学習意欲を喚起したり、キャラクターの吹き出しで児童の興味・関心を高めたりすることで、児童が見通しをもって学習問題の解決に取り組むことができる工夫。</li> <li>・キャラクターの吹き出しで地図の見方を示唆したり、活用を促したりするなど、児童が社会的事象に自ら着目したり、考えたりできるようにする工夫。</li> </ul>
内 容 の 排 列 ・ 分 量 等	<p>○ 内容の構成・排列については、巻頭の「世界発見!」、「日本をながめてみよう」で学習意欲を喚起した後、「地図って何だろう」、「地図のやくそく」、「地図帳の使い方」で地図帳の使用方法について学び、「広く見わたす地図」、「都道府県を見る地図」、「都市圏図」、「世界の地図」を取り扱うとともに、「資料・統計」を掲載し系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「地図帳の使い方」が12ページ、「日本の全図」が15ページ、「日本の地方図」が42ページ、「世界の地図」が20ページ、「資料・統計」が31ページであり、総ページ数は120ページとなっている。</p>
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 写真やイラスト等の多様な表現を用いたり、北海道の食材を使ってカレーライスを作るために、北海道の野菜の産地を調べたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「地図マスターへの道」を設けることにより、児童の興味・関心を高めたり、教師役のキャラクターの問いかけによって、学習活動を促したりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p>
その他	<p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

## 調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和2年度使用小学校教科用図書の調査研究について（報告）  
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和元年 7月17日

第9地区教科用図書調査委員会	算 数	小委員会
----------------	-----	------

委員長 二 神 孝 久



委員 小林 冬季

委員 堀田 大次郎

委員 篠原 諒 伍

委員 竹田 克彦

委員 松井 英昭

委員 鈴木 寿弘

委員 佐野 由希

委員

委員

委員

学校種目	小 学 校	種 目	算 数	学 年	
調査研究経過	<p>&lt;第1回調査委員会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小委員会委員長の選出（佐呂間町立若佐小学校長）</li> <li>○調査研究内容の確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>①「教科書採択参考資料」を参考に、「調査の観点例」に基づき、具体的な視点を設定した。</li> <li>②オホーツク管内としての調査研究の視点を設定した。</li> </ul> </li> <li>○今後の調査研究日程の確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回（7/9）までに、具体的な視点に沿って各自調査研究し、調査結果を持ち寄る。</li> <li>・第3回（7/17）までに、第2回での検討確認を踏まえ、各自調査研究し、調査結果を持ち寄る。</li> </ul> </li> <li>○調査研究等の役割分担 <ul style="list-style-type: none"> <li>小林委員・松井委員…全者の第1・第2学年</li> <li>二神委員・竹田委員…全者の第3・第4学年</li> <li>堀田委員・篠原委員…全者の第5・第6学年</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;第2回調査委員会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各委員からの調査結果の報告と研究協議 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)「取扱内容」について <ul style="list-style-type: none"> <li>佐野委員：新指導要領に準拠し、各者とも、現行の教科書との違いが数多く見られる。</li> </ul> </li> <li>(2)「内容の構成・排列、分量等」について <ul style="list-style-type: none"> <li>鈴木委員：各者とも、ページ数が増えているが、その割合を低くおさえたり、分冊したりするなど、登下校の際に重くなり過ぎないように配慮されている。</li> <li>鈴木委員：除法の導入において、等分除と包含除のどちらからでも扱えるよう、見開きを活用している者もある。</li> </ul> </li> <li>(3)「使用上の配慮等」 <ul style="list-style-type: none"> <li>二神委員：各者とも、ユニバーサルデザイン教科書体を使用するなど工夫されている。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○調査研究の概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、日本文教出版の6者について、観点の項目ごとに調査研究を実施した。</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;第3回調査委員会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○調査研究報告書の作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査の観点について、小委員会としての調査研究の内容を記述した。</li> <li>・報告書の内容の点検、見直しをした。</li> </ul> </li> </ul>				
少数意見及び参考となる事項	特になし。				

## 算数科調査研究報告書

書名 観点	東京書籍	新しい算数				
	101	201	301	401	501	601
観点	102	202	302	402	502	
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数と計算については、例えば、第1学年では、水槽に入れる魚の数を数えたり、絵を見てひき算の話を作ったりする活動を通して、整数の加法や減法の意味を理解するとともに、計算の仕方を考える力を育成できるようになっている。</li> <li>○ 図形については、例えば、第2学年では、紙を折って長方形の特徴を調べたり、紙を切って正方形を作ったりする活動を通して、基本的な図形の内容を理解するとともに、平面図形の特徴を捉え、考察する力を育成できるようになっている。</li> <li>○ 測定については、例えば、第3学年では、電池とコンパスの重さを比べたり、はかりを使って重さを測ったりする活動を通して、量の概念を理解するとともに、量の単位を用いて的確に表現する力を育成できるようになっている。</li> <li>○ 変化と関係については、例えば、第4学年では、2つの時刻の関係を表や式に表したり、表の見方について考えたりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力を育成できるようになっている。</li> <li>○ データの活用については、例えば、第5学年では、好きな給食の割合をグラフに表したり、2つのグラフから分かることを考えたりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴や傾向に着目して多面的に捉え考察する力を育成できるようになっている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、例えば、第5学年では、平面図形の性質の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせ、4つの角の大きさの和の求め方について考え、考えの共通点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動などが取り扱われている。</li> </ul>					
内容の 構成・ 分量等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、例えば、第6学年では、分数の乗法の学習の後に分数の除法の意味の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量については、例えば、第5学年では、「数と計算」は85ページ、「図形」は85ページ、「変化と関係」は43ページ、「データの活用」は23ページであり、総ページ数は310ページで、前回より約8%増となっている。（判型はB5判）</li> </ul>					
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「単元プロローグ」で児童が課題を見いだす様子を例示したり、「いかしてみよう」で学習したことを日常生活に活用する活動を取り上げたりするなど、児童の学習意欲が高める工夫がなされている。</li> <li>○ 「学びのとびら」で問題解決の過程を可視化したり「算数で読みとこう」で主体的に関わることができる教材を取り上げたりするなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</li> <li>○ 第1学年の上巻をノート機能を備えたA4判としたり、ユニバーサルデザイン教科書体を使用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>					
その他						

# 算数科調査研究報告書

書名 観点	大日本図書 たのしい算数 103 203 303 403 503 603
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数と計算については、例えば、第1学年では、水槽に入れる魚の数を数えたり、式と具体的な場面を関連付けたりする活動を通して、整数の加法や減法の意味を理解するとともに、計算の仕方を考える力を育成できるようになっている。</li> <li>○ 図形については、例えば、第2学年では、紙を折って長方形の特徴を調べたり、紙を切って正方形を作ったりする活動を通して、平面図形の特徴を捉え、考察する力を育成できるようになっている。</li> <li>○ 測定については、例えば、第3学年では、のりとはさみの重さを比べたり、はかりを使って大豆の重さを測ったりする活動を通して、量の概念を理解するとともに、量の単位を用いて的確に表現する力を育成できるようになっている。</li> <li>○ 変化と関係については、例えば、第4学年では、表から変化の様子を読み取ったり、水の減り方をグラフに表したりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力を育成できるようになっている。</li> <li>○ データの活用については、例えば、第5学年では、グラフから傾向を捉えたり、海外の国や地域へ行った日本人の人数をグラフに表したりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴や傾向に着目して多面的に捉え考察する力を育成できるようになっている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、例えば、第5学年では、平面図形の性質の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせ、四角形の内角の和が360度となる理由について考え、考えの共通点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動などが取り扱われている。</li> </ul>
内容 排 列、 構 成・ 分量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、例えば、第6学年では、分数の乗法の学習の後に、分数の除法の意味の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量については、例えば、第5学年では、「数と計算」は79ページ、「図形」は81ページ、「変化と関係」は38ページ、「データの活用」は23ページであり、総ページ数は289ページで、前回より約17%増となっている。（判型はB5判）</li> </ul>
使用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ふくろう先生になるほど算数教室」で興味・関心を高める教材を取り上げたり、「算数たまてばこ」で生活と結び付ける活動を取り上げたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 「算数まなびナビ」で学習の進め方を例示したり、単元の導入で児童自身が問題や疑問を見いだす様子を例示したりするなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</li> <li>○ 他教科の学習と関連した題材にはリンクマークを付けたり、ユニバーサルデザイン教科書体を使用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>
その他	

## 算数科調査研究報告書

書名 観点	学校図書 みんなと学ぶ小学校算数						
	104	204	304	404	504	604	
	105	205	305	405	505	605	
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数と計算については、例えば、第1学年では、花瓶に入れる花の数を数えたり、駐車場に残った車の台数を求めたりする活動を通して、整数の加法や減法の意味を理解するとともに、計算の仕方を考える力を育成できるようになっている。</li> <li>○ 図形については、例えば、第2学年では、動物を囲んだ形を仲間分けしたり、紙を折って辺の長さを比べたりする活動を通して、基本的な図形の概念を理解するとともに、平面図形の特徴を捉え、考察する力を育成できるようになっている。</li> <li>○ 測定については、例えば、第3学年では、文房具を重い順番に並べたり、同じかさで素材のちがう物の重さを比べたりする活動を通して、量の概念を理解するとともに、量の単位を用いて的確に表現する力を育成できるようになっている。</li> <li>○ 変化と関係については、例えば、第4学年では、階段の段数と高さの関係を表に表したり、水の増え方をグラフに表したりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力を育成できるようになっている。</li> <li>○ データの活用については、例えば、第5学年では、交通事故の原因別人数をグラフに表したり、グラフから分かることを考えたりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴や傾向に着目して多面的に捉え考察する力を育成できるようになっている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、例えば、第5学年では、平面図形の面積の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせ、面積を求める公式の「<math>\div 2</math>」の表す意味について考え、考えの相違点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動などが取り扱われている。</li> </ul>						
内容 の 排 列 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、例えば、第6学年では、分数の乗法や除法の学習の後に、比の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量については、例えば、第5学年では「数と計算」は71ページ、「図形」は63ページ、「変化と関係」は30ページ、「データの活用」は18ページであり、総ページ数は331ページで、前回より約14%増となっている。（判型はB5版）</li> </ul>						
使用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本の自然や伝統文化等を学習の素材として取り入れたり、ページの左側に「～したいな」などの児童の視点に立った言葉で表したりするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫がなされている。</li> <li>○ ページの右側に問題の解決に必要な数学的な見方・考え方を示したり、学習のめあてが疑問や話し合いの中から出てくるように工夫したりするなど、主体的に学習に取り組めるように工夫がなされている。</li> <li>○ パフォーマンス評価の考えを取り入れたり、ユニバーサルデザイン教科書体を使用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>						
その他							

# 算数科調査研究報告書

書名 観点	教育出版 小学算数 106 206 306 406 506 606 207 307 407
取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数と計算については、例えば、第1学年では、葉の枚数を数えたり、残った松ぼっくりの数の求め方を考えたりする活動を通して、整数の加法や減法の意味を理解するとともに、計算の仕方を考える力を育成できるようになっている。</li> <li>○ 図形については、例えば、第2学年では、動物を直線で囲んだり、紙を切って四角形や三角形を作ったりする活動を通して、基本的な図形の内容を理解するとともに、平面図形の特徴を捉え、考察する力を育成できるようになっている。</li> <li>○ 測定については、例えば、第3学年では、スポンジと電池の重さを比べたり、筆箱の重さを測ったりする活動を通して、量の概念を理解するとともに、量の単位を用いて的確に表現する力を育成することができるようになっている。</li> <li>○ 変化と関係については、例えば、第4学年では、長方形の横と縦の長さの関係を表をもとに考えたり、グラフに表したりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力を育成できるようになっている。</li> <li>○ データの活用については、例えば、第5学年では、桃の収穫量を表に整理したり、割合を比べたりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴や傾向に着目して多面的に捉え考察する力を育成できるようになっている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、例えば、第5学年では、立体図形の体積の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせ、面積の学習を活用する方法について考え、考えの相違点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動などが取り扱われている。</li> </ul>
内容の構成・分量等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、例えば、第6学年では、文字を用いた式の学習の後に、比例の関係や反比例の関係を学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量については、例えば、第5学年は、「数と計算」は84ページ、「図形」は88ページ、「変化と関係」は46ページ、「データの活用」は22ページであり、総ページは308ページで、前回より約12%増となっている。（判型はB5判）</li> </ul>
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業開きの特設教材で問題解決の楽しさを味わうことを促したり、典型的な誤答の見られる問題に「考えるヒント」を掲載し、解決の着眼点を与えたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 「主体的・対話的で深い学びのモデルページ」で学習の進め方を示したり、「算数のミカタ」で数学的な見方を促したりするなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</li> <li>○ ユニバーサルデザイン教科書体を使用するなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>
その他	

# 算数科調査研究報告書

書名 観点	啓林館 わくわく算数 108 208 308 408 508 608 209 309 409
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数と計算については、例えば、第1学年では、石の上のかえるの数を数えたり、木に残った柿の数を求めたりする活動を通して、整数の加法や減法の意味を理解するとともに、計算の仕方を考える力を育成できるようになっている。</li> <li>○ 図形については、例えば、第2学年では、紙を切って正方形を作ったり、色紙を敷き詰めて模様を作ったりする活動を通して、基本的な図形の内容を理解するとともに、平面図形の特徴を捉え、考察する力を育成できるようになっている。</li> <li>○ 測定については、例えば、第3学年では、三角定規と鉛筆の重さを比べたり、ランドセルの重さを測ったりする活動を通して、量の概念を理解するとともに、量の単位を用いて的確に表現する力を育成できるようになっている。</li> <li>○ 変化と関係については、例えば、第4学年では長方形の横と縦の長さの関係を表に表したり、水のかさと重さをグラフに表したりする学習活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力を育成できるようになっている。</li> <li>○ データの活用については、例えば、第5学年では、グラフから分かることを考えたり、作物別産出額をグラフに表したりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴や傾向に着目して多面的に捉え考察する力を育成できるようになっている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、例えば、第5学年では、小数の乗法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせ、計算の方法について考え、考えのよいところや共通点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動などが取り扱われている。</li> </ul>
内容 の 排 列 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、例えば、第6学年では、分数の乗法の学習の後に、分数の除法の意味の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量については、例えば、第5学年では、「数と計算」は84ページ、「図形」は70ページ、「変化と関係」は116ページ、「データの活用」は18ページであり、総ページ数は301ページで、前回より約9%増となっている。（判型はB5判）</li> </ul>
使用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「わくわく算数ひろば」で主体的に探究活動に取り組めるよう配慮したり、「学びのサポート」で自主的に取り組むことのできる内容を取り上げたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 児童自らが課題意識や見通しをもって学習に取り組める場面を設定したり、各時間の学習に「めあて」や「まとめ」を設定したりするなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</li> <li>○ 考えを伝えるときの分かりやすい説明の仕方が掲載されていたり、ユニバーサルデザイン教科書体を使用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>
その他	

# 算数科調査研究報告書

書名 観点	日本文教出版 小学算数  1 1 0   2 1 0   3 1 0   4 1 0   5 1 0   6 1 0 1 1 1   2 1 1   3 1 1   4 1 1   5 1 1
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数と計算については、例えば、第1学年では、葉の枚数を数えたり、木に残った柿の数を求めたりする活動を通して、整数の加法や減法の意味を理解するとともに、計算の仕方を考える力を育成できるようになっている。</li> <li>○ 図形については、例えば、第2学年では、紙を折って長方形を作ったり、紙を切って三角形を作ったりする活動を通して、基本的な図形の概念を理解するとともに、平面図形の特徴を捉え、考察する力を育成できるようになっている。</li> <li>○ 測定については、例えば、第3学年では、三角定規やボールペンなどの重さを比べたり、ランドセルの重さを測ったりする活動を通して、量の概念を理解するとともに、量の単位を用いて的確に表現する力を育成できるようになっている。</li> <li>○ 変化と関係については、例えば、第4学年では、長方形や正方形の縦と横の長さの関係を表にまとめたり、言葉の式で表したりする活動を通して、表やグラフに表す技術を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力を育成できるようになっている。</li> <li>○ データの活用については、例えば、第5学年では、果物の生産量の割合を調べたり、地域別面積をグラフに表したりする活動を通して、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴や傾向に着目して多面的に捉え考察する力を育成できるようになっている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、例えば、第5学年では、平面図形の性質の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせ、四角形の内角の和の求め方について考え、考えの共通点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動などが取り扱われている。</li> </ul>
内容 の 排 列 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、例えば、第6学年では、分数の乗法の学習の後に、分数の除法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量については、例えば、第5学年では、「数と計算」は73ページ、「図形」は84ページ、「変化と関係」は36ページ、「データの活用」は20ページであり、総ページ数は314ページで、前回より約3%増となっている。（判型はB5判）</li> </ul>
使用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「単元アプローチ」で遊びの要素がある内容を掲載したり、「算数アドベンチャー」で数学的な面白さを実感できる内容を掲載したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 「さあ、算数の学習を始めよう！」で問題解決的な学習の展開例を掲載したり、「算数ノートをつくろう」で児童が考えた過程を適切に示したノートの見本を掲載したりするなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</li> <li>○ ユニバーサルデザイン教科書体を使用するなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>
その他	

# 調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和2年度使用小学校教科用図書の調査研究について（報告）  
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和元年 7月17日

第9地区教科用図書調査委員会	理科	小委員会
----------------	----	------

委員長 大友 信也



委員 澤田 憲伸

委員 林 理沙

委員 中川 康範

委員 佐々木 美奈

委員 後藤 淳一

委員 諏江 亮子

委員 \_\_\_\_\_

委員 \_\_\_\_\_

委員 \_\_\_\_\_

委員 \_\_\_\_\_

学校種目	小 学 校	種 目	理 科	学 年	
調査研究経過	<p>&lt;第1回調査委員会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小委員会委員長の選出 (訓子府町立訓子府小学校 大友信也校長)</li> <li>○調査研究内容の確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 「教科書採択参考資料」を参考に、「調査の観点例」に基づき、具体的な視点を設定した。</li> <li>② オホーツク管内としての調査研究の視点を設定した。</li> </ul> </li> <li>○今後の調査研究日程の確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回(7/9)までに、具体的な視点に沿って各自調査研究し、調査結果を持ち寄る。</li> <li>・第3回(7/17)までに、第2回での検討確認を踏まえ、各自調査研究し、調査結果を持ち寄る。</li> </ul> </li> <li>○調査研究等の役割分担 <ul style="list-style-type: none"> <li>大友委員長(東京書籍、学校図書)</li> <li>澤田 委員(大日本図書、啓林館)</li> <li>林 委員(大日本図書、教育出版)</li> <li>中川 委員(教育出版、学校図書)</li> <li>佐々木委員(啓林館、学校図書)</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;第2回調査委員会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○日程確認・留意点確認</li> <li>○各委員からの調査結果の報告と研究協議 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 「取扱内容」について(10:00～12:00) <ul style="list-style-type: none"> <li>① 「物質・エネルギー」について <ul style="list-style-type: none"> <li>大友委員：各社とも、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察・実験を行うなどの問題解決の活動を通して、「主体的・対話的で深い学び」が実現できるよう工夫されている。</li> <li>学識者：各者とも、「ものづくり」を通して学習の理解が深まるように工夫されている。</li> </ul> </li> <li>② 「生命・地球」について <ul style="list-style-type: none"> <li>林委員：各社とも、自然を愛し、守っていこうという心情が育つよう工夫されている。</li> <li>学識者：各者とも、自然の事物・現象に直接触れる場や機会を設け、自然を愛する心情を養うことができるよう配慮されている。</li> </ul> </li> <li>③ 「知識・技能の習得、活用、研究」について <ul style="list-style-type: none"> <li>中川委員：各者、児童が習得した知識・技能や問題解決の力を、他の事象や日常生活にあてはめて深い学びにつなげられるように配慮されている。</li> <li>保護者：獲得した「知識・技能」を活用して行う「ものづくり」の活動があり、子供たちが理科の面白さを感じられるように工夫されている。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>(2) 内容の構成・排列、分量等について(13:00～15:00)</li> </ul> </li> </ul>				

	<p>佐々木委員：各者とも、これまで学習した知識、経験、技能等を踏まえた学びを意識した思考活動ができるよう配慮されている。</p> <p>(3) 使用上の配慮等  澤田委員：各者とも、単元末の「たしかめよう」や巻末の「〇年のまとめ」で既習事項の達成状況を確認し、復習を進めることができるように配慮している。</p> <p>(4) 次回の調査研究の確認  7月17日までに、各自、報告書の確認をしておくこと。</p> <p>&lt;第3回調査委員会&gt;  (1) 調査報告書の作成(10:00～16:00)  各者の報告書を調査の視点に沿って協議・確認し作成する。</p> <p>○調査研究の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査資料の確認</li> <li>・調査研究方法の確認</li> <li>・調査研究報告書の記述要領の確認</li> <li>・調査研究報告書の協議</li> <li>・調査研究報告書の完成</li> </ul> <p>○調査研究報告書の作成  調査の観点について、小委員会としての調査研究の内容を報告書として作成した。</p>
少数意見及び参考となる事項	特になし

# 理科調査研究報告書

書名 観点	東京書籍 新しい理科  301 401 501 601
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 物質・エネルギーについては、粘土やアルミニウム箔の形を変えて重さを調べる実験やゴムで動く車を作るものづくりなどの活動（第3学年）、閉じ込めた空気を押して体積や手ごたえを調べる実験や乾電池で走る車を作るものづくりなどの活動（第4学年）、食塩やミョウバンが水に溶ける量を調べる実験や電磁石を利用した鉄の空き缶拾い機を作るものづくりなどの活動（第5学年）、ろうそくを燃やし続ける方法を調べる実験や折り紙とストローでつり合いを利用したおもちゃを作るものづくりなどの活動（第6学年）を通して、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 生命・地球については、ホウセンカやピーマンの栽培や日なたの地面と日陰の地面の温度を調べる観察などの活動（第3学年）、動物のからだのつくりと動き方を調べる観察や月の見える位置の変わり方を調べる観察などの活動（第4学年）、ヘチマの花粉の働きを調べる実験や水の量を変えて流れる水の働きを調べる実験などの活動（第5学年）、吐き出した空気と吸う空気の違いを調べる実験や日没後の月の形と方位を調べる観察などの活動（第6学年）を通して、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、学習課題を設定し、見通しをもたせ、実験の結果をもとに考えを広げたり深めたりする活動ができるように工夫されている。例えば、「とじこめた空気と水」においては、閉じ込めた水を押して、体積が変わるかについて調べ、空気の体積変化との違いについて話し合う、「てこのはたらき」において、てこが水平につり合うときのきまりについて調べ、てこが水平につり合うときの重りの位置関係と重さについて話し合うことが取り扱われている。</li> </ul>
内容の 排列、 分量等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、「物の重さをくらべよう」では、同体積で重さを比べる教材を塩と砂糖とし、児童の疑問をもとにした問題を解決する学習が進められるような単元構成、「流れる水のはたらき」では、資料をもとに水の働きについて学習した後、条件を制御しながら流水の実験が行われるような単元構成にするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</li> <li>○ 内容の分量については総ページ数で、第3学年が13パーセント増、第4学年が15パーセント増、第5学年が7パーセント増、第6学年が6パーセント増となっている。（判型はA4判）</li> </ul>
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コラム「理科のひろば」では、学習内容が社会に生かされていることを紹介し、理科を学ぶ意義をとらえられるようにしたり（全学年）、北海道の有珠山が噴火する様子の写真を掲載したり（第6学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 特集ページの「私の研究」では、研究テーマの決め方、調べ方、まとめ方などを示したり、「学んだことを振り返ろう！」では、1年間で学習した内容を振り返りながら学習できるようにしたりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 小学校用教科書目録（平成32年度使用 文部科学省）による</li> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>

# 理科調査研究報告書

書名 観点	大日本図書 たのしい理科  3 0 2    4 0 2    5 0 2    6 0 2
取 扱 内 容	<p>○ 物質・エネルギーについては、アルミニウムや鉄などの種類の違う物の重さを調べる実験やゴムで動く車を作るものづくりなどの活動（第3学年）、加えた力の大きさと空気の体積や手ごたえの関係を調べる実験や電気の働きで回る送風機を作るものづくりなどの活動（第4学年）、食塩とミョウバンが水に溶ける量を調べる実験や電磁石を利用したチョウのおもちゃを作るものづくりの活動（第5学年）、燃やす前と燃やした後の空気をいろいろな方法で調べる実験や紙とストローでつり合いを利用したおもちゃを作るものづくりなどの活動（第6学年）を通して、目標を達成できるようになっている。</p> <p>○ 生命・地球については、ホウセンカやヒマワリの栽培や時刻を変えて影の位置と太陽の位置を比べながら調べる観察などの活動（第3学年）、骨のつくりと腕の動きの関係を調べる観察や星の見える位置や並び方の変化と時間の関係を調べる観察などの活動（第4学年）、受粉させた花とさせなかった花の変化を調べる実験、流れる水の量と働きを調べる実験などの活動（第5学年）、吸う空気と吐いた空気の違いを調べる実験、月の形と太陽の位置の関係を調べる実験などの活動（第6学年）を通して、目標を達成できるようになっている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、学習課題を設定し、見通しをもたせ、実験の結果をもとに考えを広げたり深めたりする活動ができるように工夫されている。例えば、「とじこめた空気や水」において、とじこめた空気加力加えたときの空気の体積や手ごたえを調べ、加えた力の大きさと空気の体積や手ごたえの関係について話し合う、「ものの燃え方」において、窒素、酸素、二酸化炭素にはものを燃やす働きがあるか調べ、空気中でもものが燃える理由について話し合うことが取り扱われている。</p>
内容の 排 列、 分量 等	<p>○ 内容の構成・排列については、「ものの重さ」では、同体積で重さを比べる教材をアルミニウム、鉄等とし児童の疑問をもとにした問題を解決する学習ができるような単元構成、「流れる水の働き」では、条件を制御しながら流水の実験を行い、導き出した結論を実際の川に当てはめて考えられるような単元構成するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については総ページ数で、第3学年が37パーセント増、第4学年が26パーセント増、第5学年が13パーセント増、第6学年が18パーセント増となっている。（判型はAB版）</p>
使用上の 配慮等	<p>○ コラム「りかのたまてばこ」では、学習内容が社会に生かされている事を紹介し、理科を学ぶ意義をとらえられるようにしたり（全学年）、北海道別海町で見られた巻積雲の写真に掲載したり（第5学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 特集ページの「自由研究」では、研究のテーマの決め方、計画の立て方、まとめ方などを示したり、「まとめ」では、1年間で学習した内容を振り返りながら学習できるようにしたりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるようような工夫がなされている。</p>
その他	<p>※ 小学校用教科書目録（平成32年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用のデジタル教科書の発行が予定されている。</p>

# 理科調査研究報告書

書名 観点	学校図書 みんなと学ぶ 小学校理科  3 0 3      4 0 3      5 0 3      6 0 3
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 物質・エネルギーについては、粘土の置き方や形を変えて重さを調べる実験やゴムの力で走る車を作るものづくりなどの活動（第3学年）、温度による空気の体積の変化を調べる実験や乾電池で走る車を作るものづくりなどの活動（第4学年）、食塩やミョウバンが水に溶ける量を調べる実験や電磁石を利用したコイルモーターを作るものづくりなどの活動（第5学年）、ろうそくが燃え続けるにはどうすればよいかを調べる実験やてこの働きを利用した「郵便物専用はかり」を作るものづくりなどの活動（第6学年）を通して、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 生命・地球については、ホウセンカやヒマワリの栽培や影の向きと太陽の見える方向を調べる観察などの活動（第3学年）、自分の腕や手のつくりを調べる観察や朝に見える月の動きを調べる観察などの活動（第4学年）、ヘチマの花粉の働きを調べる実験や流れる水の働きを調べる実験などの活動（第5学年）、吐き出した空気と吸う空気の違いを調べる実験や月の形の変化と太陽の関係を調べる観察などの活動（第6学年）を通して、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、学習課題を設定し、見通しをもたせ、実験の結果をもとに考えを広げたり深めたりする活動ができるように工夫されている。例えば、「電気のはたらき」においては、乾電池の向きを変えると、モーターの回る向きが変わる理由について調べ、回路を流れる電流の向きについて話し合う、「ものの燃え方と空気」においては、ろうそくが燃える前後での空気を調べ、燃えた後の空気では、石灰水が白濁する理由について話し合うことが取り扱われている。</li> </ul>
内容の 排列、 分量等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、「かげと太陽」では、影踏み遊びから太陽と自分の影の位置関係について考えられるような単元構成、「種子の発芽と成長」では、「ふりこの運動」の単元の次に位置付け、ふりこの学習で習得した「条件制御の方法」が生かされるような単元構成にするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</li> <li>○ 内容の分量については、総ページ数で、第3学年が29パーセント増、第4学年が16パーセント増、第5学年が12パーセント増、第6学年が6パーセント増となっている。（判型はAB4判）</li> </ul>
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コラム「資料」では、学習内容が日常生活に生かされていることを紹介し、理科を学ぶ意義をとらえられるようにしたり（全学年）、北海道の有珠山が噴火する様子の写真を掲載したり（第6学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 特集ページの「わたしの自由研究」では、研究のテーマの決め方、調べ方、まとめ方などを示したり、「学んだこと」では、1年間で学習した内容を振り返りながら学習できるようにしたりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 小学校用教科書目録（平成32年度使用 文部科学省）による</li> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>

# 理科調査研究報告書

書名 観点	教育出版 未来をひらく 小学理科  3 0 4    4 0 4    5 0 4    6 0 4
取 扱 内 容	<p>○ 物質・エネルギーの内容については、粘土や新聞紙の形を変えて重さを調べる実験や風で動くほかけ車を作るものづくりなどの活動（第3学年）、閉じ込めた空気を暖めたり冷やしたりして体積の変化を調べる実験や電気の働きで走るプロペラカーを作るものづくりなどの活動（第4学年）、食塩が水に溶ける限度について調べる実験や電磁石の性質を利用した電池チェッカーを作るものづくりなどの活動（第5学年）、ろうそくの燃焼前後の空気に含まれる酸素などの量を調べる実験や乾電池をおもりにしたさおばかりを作るものづくりなどの活動（第6学年）を通して、目標を達成できるようになっている。</p> <p>○ 生命・地球については、ハウセンカやヒマワリの栽培や日なたと日陰の地面の温度を調べる観察などの活動（第3学年）、腕や脚を動かすときの筋肉の様子を調べる観察や午後に見える半月の位置の変化を調べる観察などの活動（第4学年）、花粉をつけた花の実のつき方を調べる実験や流す水の量を変えて流れる水の働きを調べる実験などの活動（第5学年）、吸い込む空気と吐き出した息の違いを調べる実験や月の光っている側に太陽があるかを調べる観察などの活動（第6学年）を通して、目標を達成できるようになっている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、学習課題を設定し、見通しをもたせ、実験の結果をもとに考えを広げたり深めたりする活動ができるように工夫されている。例えば、「電流のはたらき」においては、回路に流れる電流の大きさについて調べ、直列つなぎと並列つなぎのときの回路に流れる電流の大きさについて話し合う、「ものの燃え方と空気」においては、どの気体にもものを燃やす働きがあるのかについて調べ、ものを燃やす働きがある気体について話し合うことが取り扱われている。</p>
内容の 構成・ 排列、 分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、「チョウを育てよう」では、チョウを飼育し、卵から幼虫、蛹、成虫までの育ち方の過程をとらえられるような単元構成、「物のとけ方」では、児童が見いだした問題を計画的に調べ、物が水に溶ける現象への理解を深められるような単元構成にするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、総ページ数で第3学年が11パーセント増、第4学年が15パーセント増、第5学年が16パーセント増、第6学年が13パーセント増となっている。（判型はA4変型判）</p>
使用上の 配慮等	<p>○ コラム「科学のまど」では、学んだことと関連した身の回りの話題を紹介し、理科を学ぶ意義を実感できるようにしたり（全学年）、豊平川に鮭の稚魚を放流する小学校の取組の写真を掲載したり（第5学年）するなど、児童の学習意欲が高める工夫がなされている。</p> <p>○ 特集ページの「わたしの研究」では、研究のテーマの決め方、調べ方、まとめ方などを示したり、「学んだこと」では、1年間で学習した内容を振り返りながら学習できるようにしたりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p>
その他	<p>※ 小学校用教科書目録（平成32年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

# 理科調査研究報告書

書名 観点	<p style="text-align: center;">啓林館 わくわく理科</p> <p style="text-align: center;">3 0 6    4 0 6    5 0 6    6 0 6</p>
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 物質・エネルギーについては、粘土をいろいろな形に変えて重さを調べる実験やゴムで動く車を作るものづくりなどの活動（第3学年）、閉じ込めた空気の体積や手ごたえを調べる実験や電気の働きで動く扇風機を作るものづくりなどの活動（第4学年）、食塩とミョウバンが水に溶ける量を調べる実験や電磁石を利用したコイルモーターを作るものづくりなどの活動（第5学年）、物を燃やす前と後の空気の違いを調べる実験やてこの働きを利用したさおばかりを作るものづくりなどの活動（第6学年）を通して、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 生命・地球については、ハウセンカやマリーゴールドの栽培や日なたと日陰の地面の温度を調べる観察などの活動（第3学年）、自分の体を触って体の中で曲げられるところを調べる観察や星の位置や並び方の観察などの活動（第4学年）、ヘチマの受粉と実のつき方を調べる実験や流れる水と地面の様子を調べる実験などの活動（第5学年）、吸う息と吐き出した息の違いを調べる実験やモデルを使った月の位置と月の形の変化を調べる実験などの活動（第6学年）を通して、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、学習課題を設定し、見通しをもたせ、実験の結果をもとに考えを広げたり深めたりする活動ができるように工夫されている。例えば、「もののあたま方」においては、ビーカーの中の水の温まり方について調べ、ビーカーの中の水が温まる順序について話し合い、「水よう液の性質」においては金属にうすい塩酸を加えたときの変化について調べ、塩酸には金属を溶かす働きがあることについて話し合うことが取り扱われている。</li> </ul>
内容の 構成・ 分量等 ・ 排 列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、「かげと太陽」では、かげつなぎやかげ踏み遊びから、かげと太陽との関係について考えられるような単元構成、「流れる水のはたらき」では、モデル実験と実際の川とを結び付けて考えられるような単元構成にするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</li> <li>○ 内容の分量については総ページ数で、第3学年が13パーセント減、第4学年が13パーセント減、第5学年が19パーセント減、第6学年が15パーセント減となっている。（判型はA B版）</li> </ul>
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コラム「理科の広場」では、身近な生活と関連した話題を紹介し、理科を学習する意義を実感できるようにしたり（全学年）、北海道三笠市で採取されたアンモナイトの化石の写真を掲載したり（第6学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 特集ページの「自由研究」では、研究のテーマの決め方、調べ方、まとめ方など等を示したり、「理科を振り返ろう～理科の見方～」では、1年間で学習した内容を振り返りながら学習できるようにしたりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 小学校用教科書目録（平成32年度使用 文部科学省）による</li> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>

# 調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和2年度使用小学校教科用図書の調査研究について（報告）  
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和元年 7月 17日

第9地区教科用図書調査委員会	生活	小委員会
----------------	----	------

委員長 天野昌明



委員 瀬川英樹

委員 佐伯 晃

委員 小野博規

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

学校種目	小 学 校	種 目	生 活	学 年	
調査研究経過	<p>&lt;第1回調査委員会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小委員会委員長の選出（北見市立上常呂小学校天野昌明校長）</li> <li>○調査研究内容の確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>①「小学校用教科用図書採択参考資料」の「調査研究の観点」に基づき、具体的な観点を確認した。</li> <li>②実際に1社の教科用図書採択参考資料と教科用図書を見比べ具体的な調査研究内容を確認した。</li> </ul> </li> <li>○今後の調査研究日程の確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>①第2回（7/9）までに、各自が調査の観点を基に全社の教科用図書の調査研究をし、調査結果を持ち寄る。</li> <li>②第3回（7/17）までに、第2回での検討確認を踏まえ、各自調査研究をし、調査結果を持ち寄る。</li> </ul> </li> <li>○調査研究の役割分担 <ul style="list-style-type: none"> <li>全委員4名が全社の調査研究を行う。</li> <li>（東書、大日本、学図、教出、光村、啓林館、日文）</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;第2回調査委員会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「内容の構成」について （10：15～12：00、13：15～15：45）</li> </ul> <p>各社共通して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者を意図した構成の配慮がされている。</li> <li>・特別支援や人権を配慮した構成がされている。</li> <li>・巻末に資料を掲載し、学びを広げるための工夫がされている。</li> <li>・スタートカリキュラムを意識した内容が配列されている。保護者を意識し、保護者とともに教科書を活用する工夫がなされている。</li> </ul> <p>○次回の調査研究の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の報告と研究協議をもとに、調査報告内容を最終確認していく。</li> </ul> <p>&lt;第3回調査委員会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○調査研究の概要（10：25～12：00） <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの調査研究内容を再度交流し、報告書への記載内容を確認した。</li> </ul> </li> <li>○調査研究報告書の作成（13：00～14：00） <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査の観点について、小委員会としての調査研究の内容を記述した。</li> </ul> </li> </ul>				
少数意見及び参考となる事項	※特になし				



## 生活科調査研究報告書

書名 観点	大日本図書 たのしい せいかつ 上 なかよし たのしい せいかつ 下 はっけん  1 0 3 1 0 4
取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、校庭を探検して絵に表したり、インタビューカードを作成したりする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考える。</li> <li>○「身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容」については、花や野菜を栽培し観察したり、楽しいおもちゃを製作したりする活動を通して、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくする。</li> <li>○「自分自身の生活や成長に関する内容」については、自分発見すごろくを製作したり、これからの自分について手紙を書いたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活する。</li> <li>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元において、学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、「せいかつことば」を掲載したり（全学年）、「がくしゅうどうぐばこ」を掲載したり（全学年）するなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</li> </ul>
内容の 排列、 構成・ 分量等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○内容の構成・排列については、これまでの成長を振り返る活動を位置付け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</li> <li>○内容の分量については、9の単元で構成され、総ページ数は273ページで、前回より約4%増となっている。（判型はA B判）</li> </ul>
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「探検カメラ」の活用し、見付けたことを記録したり（上巻）、透明シート「探検ライト」を使って夜の町の様子について考えたり（下巻）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○単元の導入に見開きのダイナミックな写真を示したり（上下巻）、話形を示して児童自身の言葉を引き出す吹き出しを示したり（上巻）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</li> <li>○全ての紙面に色覚の特性によらず情報が読み取れる配色をしたり、見やすく読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用するなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>
その他	

## 生活科調査研究報告書

書名 観点	学校図書 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 下  105 106
取扱内容	<p>○「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、学校を探検して発見カードを製作したり、町探検すてき発見カードを製作したりする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考える。</p> <p>○「身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容」については、アサガオを栽培し観察したり、おもちゃの動かし方を調べたりする活動を通して、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくする。</p> <p>○「自分自身の生活や成長に関する内容」については、がんばったカードを製作したり、これからの私について作文を書いたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活する。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元において、学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、多様な対話活動の様子を掲載したり（全学年）、「学び方図かん」（全学年）を掲載したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>
内容の 排列、 構成・ 分量等	<p>○内容の構成・排列については、「はってん」で理科、社会科とのつながりを明示し、3年生の学習を見に行く活動を位置付け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については、11の単元で構成され、総ページ数は256ページで、前回より約2%減となっている。（判型はA4変判）</p>
使用上の 配慮等	<p>○冬の行事として「旭川冬まつり」を取り上げ、季節ごとの行事に気付かせたり（下巻）、4人のキャラクターのつぶやきなどで、子どもの気付きの質を高めたり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○各単元のタイトルを工夫して自己決定の場を設定を示したり（全学年）、児童の学びが深まるよう2段階の学びの構成を示したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○全ての紙面で見やすく分かりやすい色使いにしたり、記号やマーク表示をできるだけ抑えて、シンプルで見やすい工夫をしたりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	

## 生活科調査研究報告書

書名 観点	教育出版    せいかつ 上    みんな    なかよし せいかつ 下    なかよし    ひろがれ  107    108
取 扱 内 容	<p>○「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、校庭を散策して気付きの質を高めたり、町探検計画や地図を作成したりする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考える。</p> <p>○「身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容」については、花を栽培したり、動くおもちゃを製作したりする活動を通して、活動のよさや大切さに気づき、自分たちの遊びや生活をよりよくする。</p> <p>○「自分自身の生活や成長に関する内容」については、自分探検カードを製作したり、3年生になることについて作文を書いたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気づき、意欲と自信をもって生活する。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元において、学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、育成する資質・能力を「サイコロ」のアイコンとして掲載したり（全学年）、「学びのポケット」を掲載したり（全学年）するなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>
内容の 排列、 構成・ 分量等	<p>○内容の構成・排列については、コラム「はってん」で理科、社会科とのつながりを位置付け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については、16の単元で構成され、総ページ数は272ページで、前回より約16%増となっている。（判型はA B判）</p>
使用上の 配慮等	<p>○冬の行事として「さっぽろ雪まつり」を取り上げ、季節ごとの行事に気付かせたり（下巻）、キャラクターが児童と同一視線で試行錯誤したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○各単元の最初にインデックスを配置したり（全学年）、「もしも」のページを示したり（全学年）、自己評価や振り返りを示すなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○全ての紙面に色覚等の特性を踏まえて判断しやすい配色をしたり、文字や記号を読みやすいよう写真やイラストに重ならないようにしたりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	

## 生活科調査研究報告書

書名 観点	光村図書    せいかつ 上    まいにち    あたらしい せいかつ 下    だいすき    みつけた  1 1 1    1 1 2
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、通学路の様子を調べたり、公共施設を探検したりする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考える。</li> <li>○「身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容」については、モルモットを飼育したり、動くおもちゃを製作したりする活動を通して、活動のよさや大切さに気づき、自分たちの遊びや生活をよりよくする。</li> <li>○「自分自身の生活や成長に関する内容」については、私のこと発表会をしたり、これからの自分についてまとめたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気づき、意欲と自信をもって生活する。</li> <li>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元において学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、各単元に「ホップ」のページで見通しを掲載したり（全学年）、「ステップ」で活動を深く豊かにするヒントを掲載したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</li> </ul>
内容 の 排 列 ・ 構 成 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、磁石で動くおもちゃを作る活動など、有機的に中学年に結び付けていく活動を位置付け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</li> <li>○ 内容の分量については、16の単元で構成され、総ページ数は256ページで、前回より約14%増となっている。（判型はA B判）</li> </ul>
使用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学びを記録するための、張り替え可能なシールを活用したり（上下巻）、キャラクターを配置し、対話場面を数多く掲載（上下巻）したりするなど、児童の気づきや学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 各単元の学習活動を「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階で示したり（全学年）、「ステップ」の段階に活動を広げるヒントを掲載したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</li> <li>○ 全ての紙面において文字と写真、写真と写真との区別を明確にしたり、色による識別に頼ることなく形や濃淡で識別できるようにしたりするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>
その他	

## 生活科調査研究報告書

書名 観点	啓林館 わくわく せいかつ 上 いきいき せいかつ 下  1 1 3 1 1 4
取扱内容	<p>○「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、学校のまわりを歩いたり、発見したことを伝えたりする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考える。</p> <p>○「身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容」については、生物を飼育して特徴を調べたり、おもちゃを製作をしたりする活動を通して、活動のよさや大切さに気づき、自分たちの遊びや生活をよりよくする。</p> <p>○「自分自身の生活や成長に関する内容」については、自分の成長をまとめたり、ありがとうカードを製作したりする活動を通して、自分のよさや可能性に気づき、意欲と自信をもって生活する。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元において、学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、多様な学習活動例を掲載したり（全学年）、「ひろがるきもち」で生活を豊かにしようとする姿を掲載したり（全学年）するなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>
内容の 排列、 構成・ 分量等	<p>○内容の構成・排列については、「3年生へのステップブック『みらいにむかって』」を位置付け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については、18の単元で構成され、総ページ数は287ページで、前回より約7%減となっている。（判型はA B判）</p>
使用上の 配慮等	<p>○冬の行事として「さっぽろ雪まつり」を取り上げ、季節ごとの行事に気付かせたり（上巻）、キャラクターが気づきを促し疑問を投げかけたり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○各単元においてわくわくの扉を掲載し、単元の導入を工夫したり（全学年）、巻頭に学習過程「わくわく、いきいき、ぐんぐん」を示したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○全ての紙面に色覚特性への対応を示し、誰もが見やすく、読み間違いが少ないよう配慮したり、紙面上部に安全上の注意が必要な場面に「！」マークを掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	

## 生活科調査研究報告書

書名 観点	日本文教出版 わたしと せいかつ 上 みんな なかよし わたしと せいかつ 下 ふれあい だいすき  1 1 5 1 1 6
取扱内容	<p>○「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、通学路を歩いてみたり、町の「すてき」を发表或しする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考える。</p> <p>○「身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容」については、小動物を飼育して特徴を調べたり、おもちゃを製作したりする活動を通して、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくする。</p> <p>○「自分自身の生活や成長に関する内容」については、自分の成長に関するインタビューをしたり、成長発表会をしたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活する。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元において、学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、「学びのまど」を掲載したり（全学年）、「ちえとわざのたからばこ」を掲載したり（全学年）するなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>
内容の 排列、 構成・ 分量等	<p>○内容の構成・排列については、「3年生になるのが楽しみだね」を位置付け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については、17の単元で構成され、総ページ数は278ページで、前回より約3%増となっている。（判型はA B判）</p>
使用上の 配慮等	<p>○地域の施設として「旭山動物園」を取り上げ、公共物や公共施設の利用に気付かせたり（下巻）、キャラクターが気付きのポイントや学習のヒントを提示したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○各単元で「学習のめあて」を表示したり（全学年）、小単元の導入場面に「考えるための技法」を示したり（全学年）するなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○全ての紙面で文字の大きさ、色づかいを工夫するなど、カラーユニバーサルデザインに配慮したり、下巻巻末に実物大の点字を触って体験できる紙面を掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	

# 調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和2年度使用小学校教科用図書の調査研究について（報告）  
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和元年7月17日

第9地区教科用図書調査委員会	音楽	小委員会
----------------	----	------

委員長 平野 真奈美 印



委員 永易 孝一

委員 上杉 一弘

委員 渡辺 岳男

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

学校種目	小 学 校	種 目	音 楽	学 年	
調査研究経過	<p>&lt;第1回調査委員会&gt;  ○小委員会委員長の選出  (清里町立清里小学校 平野真奈美校長)  ○調査研究内容の確認  ・「教科書採択参考資料」を参考に、「調査の観点例」に基づき、具体的な視点を設定した。  ・オホーツク管内としての調査研究の視点を設定した。  ○今後の調査研究日程の確認  ・第2回までに、具体的な視点に沿って各自調査研究をし、調査結果を持ち寄る。  ・第3回までに、第2回までの検討事項を踏まえ、各自調査研究し、調査結果を持ち寄る。  ○役割分担については、2者を委員全員で行う。</p> <p>&lt;第2回調査委員会&gt;  各者の「取り扱い内容」「内容の構成」についての協議  永易委員：歌唱教材について、メロディーの美しさや親しみやすい最近の流行曲、歌い継がれている曲を多く取り上げている。  平野委員：写真や図を多く取り入れ、歌唱や鑑賞教材に関連した場面や、楽器の取り扱いに対して、子どもたちが想像したり理解したりすることができるように工夫している。  渡辺委員：体を使って曲想を表現したり、感じ取ったりする活動を多く取り上げている。  上杉委員：音楽づくりにおいて、リズムや音階、使う楽器といった視点を明確にした活動ができるよう工夫している。</p> <p>&lt;第3回調査委員会&gt;  各者の内容の構成・排列、分量等」「使用上の配慮」についての協議  永易委員：内容的に系統的に排列されている。  平野委員：歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の教材が、バランスよく、また、発展的に構成されている。  渡辺委員：目次や巻末にも学習意欲を高める工夫がされている。  上杉委員：デジタル教材化が進み、授業を進めるにあたって視覚的効果がある。  ○調査研究報告書の作成  ・調査の観点について、小委員会としての調査研究の内容を記述した。</p>				
少数意見及び参考となる事項	特になし				

# 音楽科調査研究報告書

書名 観点	教育出版 小学音楽 音楽のおくりもの 1 0 1 2 0 1 3 0 1 4 0 1 5 0 1 6 0 1
取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌唱の第5・6学年では、楽曲の特徴を捉えて歌ったり、自分たちの思いや意図を生かした表現を工夫して歌ったりする活動となっている。</li> <li>○ 器楽の第1・2学年では、手や打楽器を用いて歌詞に合わせてリズムを打ったり、音色に気をつけて簡単なリズムを打ったりする活動となっている。</li> <li>○ 音楽づくりの第3・4学年では、いろいろな楽器の音の響きや組合せを楽しんだり、役割を基に音楽をつくって、即興的に表現したりする活動となっている。</li> <li>○ 鑑賞の第5・6学年では、曲や演奏のよさなどを見出しながら聴いたり、曲想とその変化と音楽の構造との関わりに気を付けて聴いたりする活動となっている。</li> <li>○ 〔共通事項〕の第3・4学年では、拍の流れによって歌や遊びを楽しんだり曲の流れを感じ取って聴いたりする活動となっている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について、第1・2学年では「みんなで合わせて」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、使う楽器の音の出し方を工夫して合奏するなど、考えを広げたり深めたりする活動となっている。第3・4学年では「わたしたちの表現」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、楽器の音や声の響きを聴き合いながら演奏するなど、考えを広げたり、深めたりする活動となっている。第5・6学年では「音楽に思いをこめて」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、楽曲に込められた思いを感じ取って歌うなど、考えを広げたり、深めたりする活動となっている。</li> </ul>
内容の 排列・ 構成・ 分量等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、曲の特徴に着目して聴く学習や特徴に合わせて体を動かす学習の後に、楽器の関わりや聴こえた音を書いて曲のよさや楽しさを交流する学習を取り扱ったり、旋律の流れに合わせて体を動かす学習の後に、曲のよさを交流したりする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</li> <li>○ 内容の分量について、第5学年では歌唱の教材数は26、器楽の教材数は12、音楽づくりの教材数は4、鑑賞の教材数は67であり、総ページ数は78ページで、前回と同様になっている。（判型はA4変型版）</li> </ul>
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開きごとの「学習のめあて」や、教材曲や学習活動に即した児童への解説を示したり北海道民謡の「ソーラン節」を歌唱と鑑賞の教材として取り上げたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 「学びナビ」や「学び合う音楽」コーナーを掲載したり、巻末資料に「『音楽のもと』まとめ」等の豊富な資料を掲載したりするなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習者デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>

# 音楽科調査研究報告書

書名 観点	教育芸術社 小学生の音楽 102 202 302 402 502 602
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌唱の第5・6学年では、歌声の重なり合う響きを感じ取ったり、歌詞と旋律の特徴を生かした表現を工夫して歌ったりする活動となっている。</li> <li>○ 器楽の第1・2学年では、手や打楽器を用いて歌詞に合わせてリズムを打ったり、曲想を感じ取って工夫して演奏したりする活動となっている。</li> <li>○ 音楽づくりの第3・4学年では、リコーダーを用いてお囃子の旋律をついたり、打楽器の音を組み合わせる音楽づくりをしたりする活動となっている。</li> <li>○ 鑑賞の第5・6学年では、楽器の響きに気を付けてオーケストラの演奏を聴いたり、日本の歌の言葉と旋律の美しさについて感受したことを書いたりする活動となっている。</li> <li>○ [共通事項]の第3・4学年では、曲の特徴を感じ取って聴いたり、拍の流れや旋律を感じて演奏したりする活動となっている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について、第1・2学年では「ドレミであそぼう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、選んだ音でつくった短い旋律のつなげ方を工夫するなど、考えを広げたり、深めたりする活動となっている。第3・4学年では「いろいろなリズムを感じ取ろう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに反復や変化を使ったリズムで音楽をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動となっている。第5・6学年では「いろいろな音色を感じ取ろう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、声の響きの重なりを生かして音楽をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動となっている。</li> </ul>
内容の 排 列 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、リズムづくりの学習の後に、口唱歌の組み合わせや、反復・変化を使ったリズムアンサンブルをつくる学習を取り扱ったり、音楽の仕組みを生かした音楽をつくったりする学習の後に、声の響きの重なりを生かしたボイスアンサンブルをつくる学習を取り扱うなどして、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</li> <li>○ 内容の分量について、第5学年では歌唱の教材数は20、器楽の教材数は9、音楽づくりの教材数は2、鑑賞の教材数は28であり、総ページ数は87ページで、前回より16%増となっている。（判型はA4変形型）</li> </ul>
使用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 裏表紙に子どもが郷土芸能を受け継いで活躍している写真や、該当ページに演奏家のメッセージを掲載したり、北海道民謡の「ソーラン節」を鑑賞教材として取り上げたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 巻頭の「音楽の木」や巻末の「ふり返りのページ」を掲載したり、各ページに学習のねらいや音楽を形づくっている要素を示したりするなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>

# 調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和2年度使用小学校教科用図書の調査研究について（報告）  
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和元年7月17日

第9地区教科用図書調査委員会	図画工作	小委員会
----------------	------	------

委員長 里見貴史



委員 玉造至

委員 塩浦亜紀

委員 阿部賢一

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

学校種目	小 学 校	種 目	図画工作	学 年	1～6年
調査研究経過	<p>&lt;第1回調査委員会&gt;  ○各委員からの自己紹介  ○小委員会委員長の選出（遠軽町立東小学校 里見貴史校長）  ○教科書会社二者の内容を全員で確認した。  ○調査の視点と方向性を確認した。  ○各会社の詳細を確認した。  ○内容を各自から感想を交流した。  ○第2回（7/9）の調査会に向けて、分担を決める  ○各自ですべての会社をチェックしてくる  ○日文の観点別の項目に照らし合わせて、もう一社と比較</p> <p>&lt;第2回調査委員会&gt;  ○各委員より調査結果の報告と協議を交流する。  ○調査研究の観点に基づいて、日文・開隆堂の取り扱い内容について、各委員より調査した結果を報告協議しまとめた。  ○内容の構成・排列・分量等について、実際の教科書を見て二者それぞれの特色をまとめた。  ○使用上の配慮等について、児童の学習意欲を高める工夫を自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているかなど、意見を出し合いまとめた。  ○絵画・版画についての系統性について比較分析を行った。  ○調査研究報告書の作成  ・調査の観点について、小委員会としての調査研究の内容を記述した。</p> <p>&lt;第3回調査委員会&gt;  ○文言文末の修正等を委員全員で行った。</p>				
少数意見及び参考となる事項	○特にありません。				

## 図画工作科調査研究報告書

書名 観点	開隆堂出版 図画工作  1 0 1    1 0 2    3 0 1    3 0 2    5 0 1    5 0 2
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 造形遊びをする活動については、土や落ち葉、段ボールを切って組み合わせたりする活動を通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 絵や立体、工作に表す活動については、1, 2学年では、手や指を使って絵の具でかいたり、カッターナイフを使っていろいろな線を切ったりする活動。3, 4学年では、凹凸のある身近な材料を台紙に貼って版画に表したり、のこぎりで切った板を組み合わせ楽しく使えるものをつくったりする活動。5, 6学年では、地域のすてきなものを絵に表したり、光の美しさを生かした飾りをつくったりする活動を通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 鑑賞する活動については、学齢に則して、身近なものや自然の材料、日本や諸外国の作品のよさを味わったりする活動を通して、面白さや楽しさを感じ取る学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ [共通事項]については、様々な素材を通して、形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ学習活動が取り上げられている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、1, 2学年での「こころのはなをさかせよう」。3, 4学年での「わくわくネイチャーランド」。5, 6学年での「同じもの、たくさん」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、友達と話し合ったり、力を合わせながら活動し、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</li> </ul>
内容 の 排 列 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、材料や方法について、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて取り扱う内容を選択できるように構成し、発展的に学習できるような工夫がなされている。</li> <li>○ 内容の分量については、総ページ数は前回と比べ、平均25%増となっている。(判型A4判)</li> </ul>
使用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「みんなのギャラリー」に、「アートキャラバン(美唄市)(第1, 2学年下)や、「白楊アイス・スノーキャンドル(札幌市)」(第3, 4学年下)を掲載するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 題材ごとに三つの育てたい資質・能力を示した「学習のめあて」を掲載したり(全学年)、読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用したり(全学年)するなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>※小学校用教科書目録(平成32年度使用文部科学省)による</li> <li>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>

## 図画工作科調査研究報告書

書名 観点	日本文教出版 図画工作  1 0 3    1 0 4    3 0 3    3 0 4    5 0 3    5 0 4
取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 造形遊びをする活動については、土や落ち葉、段ボールを切って組み合わせたりする活動を通して、進んで表す態度を身に付け、作り出す喜びを味わう学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 絵や立体、工作に表す活動については、1, 2学年では、空き箱を組み合わせで形をつくったり、インクを付けたローラーを転がしてできた形を基に絵に表したりする活動。3, 4学年では、用具を使って粘土の形を変えたり、色づくりや筆使いなどを工夫して花をかいいたりする活動。5, 6学年では、電動糸のこぎりで切った板を組み合わせでパズルをつくったり、墨の濃さを換えながら思いのままにかいたりする活動を通して、進んで表す態度を身に付け、作り出す喜びを味わう学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 鑑賞する活動については、学齢に則して、身近なものや自然の材料、日本の美術作品に触れてよさや美しさを味わったりする活動を通して、面白さや楽しさを感じ取る学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ [共通事項]については、様々な素材や場の設定を通して、造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ学習活動が取り上げられている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、1, 2学年での「ちょきちょきかざり」。3, 4学年での「ひみつのすみか」。5, 6学年での「光と影のハーモニー」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、友達と話し合ったり、力を合わせ合ったりしながら活動し、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</li> </ul>
内容の 排列、 分量 ・ 構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、材料や方法について、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるように構成し、発展的・系統的に学習できるような工夫がなされている。</li> <li>○ 内容の分量については、総ページ数は、前回と比べ、平均15%程度の増となっている。（判型A4判）</li> </ul>
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「教科書・美術館」に、「あみのもりのいきもの（北海道）」（第1, 2学年下）や「日ノ浜遺跡出土の動物土偶（市立函館博物館）」（第5, 6学年上）を掲載するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 題材ごとに三つの育てたい資質・能力を示した「学習のめあて」を掲載したり（全学年）、学年に合わせ、文字の大きさを調整したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>※小学校用教科書目録（平成32年度使用文部科学省）による</li> <li>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>

# 調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和2年度使用小学校教科用図書の調査研究について（報告）  
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和元年7月17日

第9地区教科用図書調査委員会	家 庭	小委員会
----------------	-----	------

委員長 長 谷 川 純 子



委員 小野寺真樹

委員 高橋寿子

委員 竹村直子

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

学校種目	小学校	種目	家庭	学年	
調査研究経過					<p>&lt;第1回調査委員会&gt;</p> <p>○小委員会委員長の選出 (大空町立東藻琴小学校長谷川純子校長)</p> <p>○調査研究内容の確認</p> <p>①「教科書採択参考資料」を参考に、「調査の観点例」に基づき、具体的な視点を設定した。</p> <p>②オホーツク管内としての調査研究の視点を設定した。</p> <p>○今後の調査研究日程の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2回(7/9)までに、具体的な視点に沿って各自調査研究し、調査結果を持ち寄る。</li> <li>・ 第3回(7/17)までに、第2回での検討確認を踏まえ、各自調査研究し、調査結果を持ち寄る。</li> </ul> <p>○調査研究等の役割分担</p> <p>長谷川委員(東書、開隆堂) 小野寺委員(東書、開隆堂) 高橋委員(東書、開隆堂) 竹村委員(東書、開隆堂)</p> <p>&lt;第2回調査委員会&gt;</p> <p>○各委員からの調査結果の報告と研究協議(10:00~16:00)</p> <p>(1)「取扱内容」について</p> <p>①「A家族・家庭生活」について</p> <p>竹村委員:2者とも内容はほぼ同じである。家族の大切さや家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付くようになっている。</p> <p>小野寺委員:自分は家族の一員、地域の一員と、「一員」というところが強調されている。</p> <p>長谷川委員:家庭の仕事を1つの大題材として取り上げ、家族や家庭生活を学べるようになっているものもある。</p> <p>小野寺委員:2者とも地域の人との関わりの大切さを認識できるように具体的な活動例が盛り込まれている。</p> <p>長谷川委員:現学習指導要領では「A家庭生活と家族」だが、新学習指導要領では、「A家族・家庭生活」となっていて、文言が逆になっている。</p> <p>竹村委員:現在、虐待や親子で殺し合う事件が多発している。家族の大切さを強調することが大切なのではないか。</p> <p>②「B衣食住の生活」について</p> <p>小野寺委員:2者とも、基礎・基本を大切にしている。</p> <p>長谷川委員:基礎・基本の内容が易から難へと配置されており知識や技能が確実に身に付くよう工夫されている。</p> <p>竹村委員:大題材名や小題材名に「なぜ〜」「どうして〜」「〜しましょう」「理解しましょう」など児童に語りかけるような文言が使用されており、児童の意欲を喚起するのではないか。</p> <p>長谷川委員:衣食住を互いに関連させたり衣食住と環境を関連させたりして大題材を作るなど題材の工夫が見られる。</p>

	<p>竹村委員：家族が喜ぶ献立など家族と密接に関連させている。</p> <p>竹村委員：2者ともQRコードで動画が見ることができ、基礎基本の技能を文字が読めない児童でも習得できるようになっている。</p> <p>③「C消費生活・環境」について</p> <p>竹村委員：日本は資源の少ない国である。少ない資源を大切に する気持ちを養う工夫が見られる。</p> <p>長谷川委員：売買契約という難しい言葉が入っているが、理解 できるようイラストや図が工夫されている。</p> <p>竹村委員：プリペイドカードやICカードなどの最新支払い方 法やインターネット取引の危険性が記載されている。最近オレオレ詐欺被害が多発しているので啓発になる。</p> <p>④「主体的・対話的で深い学び」について</p> <p>長谷川委員：生活の中から課題を見だし、その解決を図り、 それらをまとめる課題解決的な学習内容になっている。</p> <p>小野寺委員：学習のめあてや学習の流れが書かれており、解決 の見通しが立てやすくなっている。</p> <p>長谷川委員：話し合い、発表する活動を多く取り入れ、互いの 考えをもとに自らの考えを深める内容になっている。</p> <p>&lt;第3回調査委員会&gt;</p> <p>○各委員からの調査結果報告と研究協議（10:00～16:00）</p> <p>（1）「内容の構成・排列、分量等」について</p> <p>小野寺委員：成長の記録欄があり、2年間の成長が分かるよう 工夫されている。</p> <p>竹村委員：散らかった部屋の写真など良い例だけでなく悪い例 も記載されており、関心が高まる工夫がされている。</p> <p>長谷川委員：新学習指導要領に新設された「家族・家庭生活に ついての課題と実践」内容に基づいて「レッツトライ生 活の課題と実践」や「生活を変えるチャンス！」コーナ ーが設けられている。</p> <p>高橋委員：他教科や外国語、道徳との関連が図られる内容とな っている。</p> <p>（2）「使用上の配慮等」について</p> <p>高橋委員：2者とも様々なマークが使用されており内容が分か りやすい。</p> <p>竹村委員：最新の話題や情報が取り上げられており、児童の学 習意欲を高める工夫がされている。</p> <p>小野寺委員：実物大の写真や右利き用・左利き用の写真が掲載 されており、分かりやすい。</p> <p>○調査研究の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京書籍及び開隆堂の2者について、観点の各項目ごとに調 査研究を実施した。</li> </ul> <p>○調査研究報告書の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査の観点について、小委員会としての調査研究の内容を記 述した。</li> </ul>
<p>少数意見及び参 考となる事項</p>	<p>○特になし</p>

## 家庭科調査研究報告書

書名 観点	東京書籍                      新しい家庭  5 0 1
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目標を達成するために次のような学習活動が取り上げられている。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・「A家族・家庭生活」については、家庭生活と家族の大切さや家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付くよう、第5学年において自分にできる仕事を見つけたり、団らんを持つ計画を立てたりする活動や、第6学年において生活時間を工夫したり、地域の人々と心のつながりを深めるために工夫できることを考えたりする活動。</li> <li>・「B衣食住の生活」については、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付けるとともに、それらの課題を解決する力を養うよう、第5学年において「青菜のおひたし・ゆでいも」や「ご飯とみそ汁」を作ったり、「マイミニバック」などを製作したりする活動や、第6学年において家族が喜ぶ一食分の献立を考えたり、「トートバック」を製作したりする活動。</li> <li>・「C消費生活・環境」については、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、それらの課題を解決する力を養うよう、第5学年において目的に合った選び方や買い方を考えたり、環境や資源に配慮した生活を工夫したりする活動や、第6学年において目的や品質を考えた適切な買い方を考える活動。</li> </ul> </li> <li>○ 「家族・家庭生活の課題と実践」については、日常生活の中から課題を設定しよりよい生活を考え計画を立てて実践できるよう、家族のために小物入れを作るなど、学んだことを生かすための具体的な活動例が取り上げられている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、「ひと針に心をこめて」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、学習したことをもとに実践して、自分の考えを根拠や理由を明確にして分かりやすく説明・発表するなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</li> </ul>
内容の 排列、 構成・ 分量等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、学習内容を27の大題材（45の小題材）で構成し、基礎的な学習をした後に、応用的な教材で活用するなど、2年間を通して、系統的・発展的に学習することができるような工夫がなされている。</li> <li>○ 分量については、「A家族・家庭生活」は28ページ、「B衣食住の生活」は95ページ、「C消費生活・環境」は8ページ、「A家族・家庭生活及びB衣食住の生活」は5ページ、「B衣食住の生活及びC消費生活・環境」は9ページあり、「その他」はなく、総ページ数は145ページで、前回より12%増となっている。（判型はA4判）</li> </ul>
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ マークやコラム欄を掲載することによって興味・関心をもたせたり、ワークシートを掲載し学習活動を促したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 写真や挿絵でまとめて掲載し、必要に応じて調べさせ、児童の生活の中から課題を見つけられるよう促し、家庭学習へとつなげるなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> <li>○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、大題材ごとに「学習の流れ」を掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 小学校用教科書目録（平成32年度用 文部科学省）による</li> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>

## 家庭科調査研究報告書

書名 観点	開隆堂 小学校 わたしたちの家庭科  5 0 2
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目標を達成するために次のような学習活動が取り上げられている。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・「A家族・家庭生活」については、家庭生活と家族の大切さや家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付くよう、第5学年において自分にできる仕事を見つけたり、家族の一員として仕事の仕方を考えたりする活動や、第6学年において生活時間を工夫したり、地域の人々とのかかわりを見つめ地域の一員としてできることを考えたりする活動。</li> <li>・「B衣食住の生活」については、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付けるとともに、それらの課題を解決する力を養うよう、第5学年において「青菜のおひたし・ゆでいも」や「ご飯とみそ汁」を作ったり、「カード入れ」などを製作したりする活動や、第6学年において栄養のバランスがよい一食分の献立を考えたり、「マイバック」を製作したりする活動。</li> <li>・「C消費生活・環境」については、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、それらの課題を解決する力を養うよう、第5学年において計画的な買い物の仕方を考えたり、目的に合った物の選び方や買い方を工夫したりする活動や、第6学年において環境に配慮した生活について考える活動。</li> </ul> </li> <li>○ 「家族・家庭生活の課題と実践」については、日常生活の中から課題を設定しよりよい生活を考え、計画を立てて実践できるよう、家族のために昼食を作るなど、学んできたことを生かすための具体的な活動例が取り上げられている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、「ソーイングはじめの一步」において、学習課題を設定し、見通しをもたせ生活への工夫に生かす方法を考え実践し、自分の考えを根拠や理由を明確にして分かりやすく説明・発表するなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</li> </ul>
内容の 排列、 構成・ 分量等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、学習内容を22の大題材（59の小題材）で構成し、基礎的な学習をした後に応用的な教材で活用するなど、2年間を通して系統的・発展的に学習することができるような工夫がなされている。</li> <li>○ 分量については、「A家族・家庭生活」は25ページ、「B衣食住の生活」は42ページ、「C消費生活・環境」は8ページ、「A家族・家庭生活及びC消費生活・環境」は4ページ、「B衣食住の生活及びC消費生活・環境」は46ページ、「その他」は12ページあり、総ページ数は137ページで、前回より20%増となっている。（判型はA B判）</li> </ul>
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ マークやコラム欄を掲載することによって興味・関心をもたせたり、チェックリストを掲載し学習活動を促したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 写真や挿絵を掲載し、必要に応じて調べさせ、児童の生活の中から課題を見つけられるよう促し、家庭学習へとつなげるなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> <li>○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、大題材ごとに「学習のめあて」を掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 小学校用教科書目録（平成32年度用 文部科学省）による</li> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>

# 調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和2年度使用小学校教科用図書の調査研究について（報告）  
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和元年7月17日

第9地区教科用図書調査委員会	体 育	小委員会
----------------	-----	------

委員長 山口英世



委員 宮崎純信

委員 中野智如

委員 茗作政幸

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

学校種目	小 学 校	種 目	体 育	学 年	
調査研究経過	<p>&lt;第1回調査委員会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小委員会委員長の選出（津別町立津別小学校 山口英世校長）</li> <li>○調査研究内容の確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>①「教科書採択の参考資料」を参考に、「調査の観点例」に基づき、具体的な視点を設定した。</li> <li>②オホーツク管内としての調査研究の視点を設定した。</li> </ul> </li> <li>○今後の調査研究日程の確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回（7/9）までに、具体的な視点に沿って各自調査研究し、調査結果を持ち寄る。</li> <li>・第3回（7/17）までに、第2回での検討確認を踏まえ、各自調査研究し、調査結果を持ち寄る。</li> </ul> </li> <li>○調査研究等の役割分担 <ul style="list-style-type: none"> <li>山口委員（東書、大日本、学研、文教）</li> <li>宮崎委員（大日本、光文、学研）</li> <li>中野委員（東書、光文、文教）</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;第2回調査委員会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各委員からの調査結果の報告と研究協議 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)「取扱内容」について（10:00～16:00） <ul style="list-style-type: none"> <li>①「健康な生活」に関する内容について</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>山口委員：「健康な生活」では、1日の生活を振り返り、自分の生活に生かせるように各者工夫がなされている。</p> <p>中野委員：児童が自らの生活を振り返りやすいように各者、構成が工夫されている。</p> <p>宮崎委員：児童が自分の生活を振り返りやすいように各者とも表やグラフが工夫されている。</p> <p>茗作委員：「健康な生活」では、スマートフォンやタブレットの使い方と生活リズムを1ページに渡って取り上げ現代生活に密接している内容となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>②「病気の予防」に関する内容について</li> </ul> <p>山口委員：喫煙や飲酒及び生活習慣病の健康に及ぼす影響について、写真等を用いて各者とも工夫されている。</p> <p>中野委員：「毎日を健康に過ごすには、どのような生活の仕方がよいか」児童が、思考、判断、表現しやすいように学習の流れが工夫されている。</p> <p>宮崎委員：病気を予防するための課題解決のために、各者とも写真やデータを掲載し工夫されている。</p> <p>茗作委員：6学年「病気の予防」では、喫煙の害について札幌市の条例のステッカー（喫煙制限区域）の写真が掲載されており身近に感じられる。</p>				

	<p>&lt;第3回調査委員会&gt;  ○各委員からの調査結果の報告と研究協議  (1) 「構成・配列・分量」「使用上の配慮等」について  (10:00～16:00)</p> <p>山口委員：各者とも、内容の配列についてわかりやすく構成されている。  中野委員：各者とも分量が増やされ、指導内容が網羅されている。  宮崎委員：発達段階に応じて、わかりやすい内容で構成されている。  茗作委員：各者とも構成、配列、分量ともに発達段階に応じた工夫がされている。</p> <p>○調査研究の概要  ・各自、役割分担に応じて、教科書の調査・分析を行った。</p> <p>○調査研究報告書の作成  ・調査の観点について、小委員会としての調査研究の内容を記述した。  ・各者の工夫や表記に配慮しながら、報告書の作成を行った。</p>
少数意見及び参考となる事項	「けがの防止」で、けがの場所とは、けがをした身の回りの環境を表わしており、けがをした部位ではない。

## 体育科調査研究報告書

書名 観点	東京書籍      新しい保健  3 0 1      5 0 1
取 扱 内 容	<p>○ 第3,4学年の「健康な生活」については、実験結果を基に体を清潔にする理由や健康に過ごすための友達へのアドバイスを考える活動を通して理解し、課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようになっている。</p> <p>「体の発育・発達」については、身長の変化や発育の個人差を調べ、よりよく発育させるために生活の中で実行したいことを考える活動を通して理解し、課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようになっている。</p> <p>○ 第5,6学年の「心の健康」については、心と体が影響し合っていることや、不安や悩みへの対処の方法について考える活動を通して理解し、課題を見つけ、その解決に向けて思考、判断し、表現できるようになっている。</p> <p>「けがの防止」については、けがや事故の原因、事例の場面で予測される危険や回避する方法について考える活動を通して理解し、簡単な手当や、けがを防止するために危険の予測や回避の方法を考え、表現できるようになっている。</p> <p>「病気の予防」については、感染症や生活習慣病、喫煙などが健康に及ぼす影響を理解し、課題の解決に向けて思考、判断し、表現できるようになっている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3,4学年では、健康な生活の学習において、「毎日を健康に過ごすにはどのような生活の仕方がよいのか」という課題を設定し、「調べる・解決する」、「深める・伝える」などが取り扱われている。</p> <p>第5,6学年では、けがの防止の学習において、「交通事故はどうすれば防止できるのか」という課題を設定し、「調べる・解決する」、「深める・伝える」などが取り扱われている。</p>
内容の 排列、 構成・ 分量等	<p>○ 内容の構成については、体の成長について学習した後、体の発育と個人差について考えたり、不安や悩みへの対処について学習した後、相手に自分の気持ちや考えを上手に伝えたりするなどのように配慮されている。</p> <p>○ 内容の排列については、第3,4学年は、思春期の体の変化の学習においても同様の学習活動ができる工夫がされている。第5,6学年は、自分から他者へと考える視野を広げられるよう系統的・発展的な学習の工夫がされている。</p> <p>○ 内容の分量については、第3,4学年は、前回より約55%増になっている。第5,6学年は、前回より約59%増になっている。（どちらも判型はA4判）</p>
使用上の 配慮等	<p>○ 全学年、各項目末に関連ある資料の掲載やデジタル教材の充実を図るなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。</p> <p>○ 全学年、単元のはじめに目標や学習内容を示したり、課題の解決に結び付く視点などをキャラクターの吹き出しで示したりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。</p> <p>○ 健康についての考えや様子の変化を確認できるチェック表を掲載したり（第3,4,6学年）、全学年、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするなど工夫されている。</p>
その他	

# 体育科調査研究報告書

書名 観点	大日本図書 たのしい保健 302 502
取 扱 内 容	<p>○ 第3,4学年の「健康な生活」については、1日の生活を振り返り、健康な生活の仕方や身の回りの環境の整え方について考える活動を通して理解し、課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようになっている。</p> <p>「体の発育・発達」については、自分の身長の変化や思春期における体の変化について調べる活動を通して理解し、簡単な対処や課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようになっている。</p> <p>○ 第5,6学年の「心の健康」については、不安や悩みに関する経験を振り返ったり、不安や悩みへの対処として呼吸法を行ったりする活動を通して理解し、課題を見つけ、その解決に向けて思考、判断し、表現できるようになっている。</p> <p>「けがの防止」については、予測される危険や安全な行動、けがをしたときの行動について考える活動を通して理解し、簡単な手当や、けがを防止するために危険の予測や回避の方法を考え、表現できるようになっている。</p> <p>「病気の予防」については、病気の要因や喫煙などが健康に及ぼす影響を理解し、課題の解決に向けて思考、判断し、表現できるようになっている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3,4学年では、健康な生活の学習において、「毎日を健康に過ごすにはどのような生活の仕方がよいのか」という課題を設定し、「話し合ってみよう」、「活用して深めよう」などが取り扱われている。</p> <p>第5,6学年では、けがの防止の学習において、「犯罪被害から身を守るにはどうすればよいのか」という課題を設定し、「やってみよう」、「活用して深めよう」などが取り扱われている。</p>
内容の 排列、 構成・ 分量等	<p>○ 内容の構成については、1日の生活の仕方や健康によい生活環境を学習した後、自分の生活を振り返ったり、生活の仕方と病気の予防について学習した後、がんと生活習慣のかかわりについて考えたりするなどのように配慮されている。</p> <p>○ 内容の排列については、第3,4学年は、課題を発見し生活に生かすことができる工夫がされている。第5,6学年は、学習内容を広げて知識を深められるよう系統的・発展的な学習の工夫がされている。</p> <p>○ 内容の分量については、第3,4学年は、前回より約27%増になっている。第5,6学年は、前回より約16%増になっている。（どちらも判型はAB判）</p>
使用上の 配慮等	<p>○ 全学年、単元の学習課題に関連した「学習ゲーム」の掲載やデジタル教材の充実を図るなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。</p> <p>○ 全学年、学習の流れを示した教科書の使い方を掲載したり、課題の解決に結び付くヒントなどをキャラクターの吹き出しで示したりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。</p> <p>○ 健康や安全と自分の夢や目標とのつながりを伝えるページを掲載したり（第3学年）、全学年、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするなど工夫されている。</p>
その他	

# 体育科調査研究報告書

書名 観点	文教社 わたしたちの保健  303 503
取 扱 内 容	<p>○ 第3,4学年の「健康な生活」については、健康な生活を送るために大切なことを考え、1日の生活で心がけていることを振り返る活動を通して理解し、課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようになっている。</p> <p>「体の発育・発達」については、身長の変化や発育の仕方について調べ、思春期における異性の友達との関わり方について考える活動を通して理解し、課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようになっている。</p> <p>○ 第5,6学年の「心の健康」については、不安や悩みに関する経験を振り返ったり、対処の方法について話し合ったりする活動を通して理解し、課題を見つけ、その解決に向けて思考、判断し、表現できるようになっている。</p> <p>「けがの防止」については、けがの場所や原因、予測される危険や回避の方法を考える活動を通して理解し、簡単な手当や、けがを防止するために危険の予測や回避の方法を考え、表現できるようになっている。</p> <p>「病気の予防」については、病気の原因や喫煙などが健康に及ぼす影響を理解し、課題の解決に向けて思考、判断し、表現できるようになっている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3,4学年では、健康な生活の学習において、「健康な生活を送るためには、1日の過ごし方をどうすればよいのか」という課題を設定し、「考えてみよう」、「新しい自分にレベルアップ」などが取り扱われている。</p> <p>第5,6学では、心の健康の学習において、「心の健康を保つにはどうすればよいのか」という課題を設定し、「考えてみよう」、「新しい自分にレベルアップ」などが取り扱われている。</p>
内容の 排列、 構成・ 分量等	<p>○ 内容の構成については、毎日の生活と健康について学習した後、健康に関する目標や理由を伝え合ったり、喫煙の害について学習した後、たばこを勧められたときの対処を考えたりするなどのように配慮されている。</p> <p>○ 内容の排列については、第3,4学年は、目標を意識して健康な生活を送ることができる工夫がされている。第5,6学年は、飲酒や薬物乱用の学習においても同様の学習活動ができるよう系統的・発展的な学習の工夫がされている。</p> <p>○ 内容の分量については、第3,4学年は、前回より約32%増になっている。第5,6学年は、前回より約17%増になっている。（どちらも判型はA4判）</p>
使用上の 配慮等	<p>○ 全学年、学習に関連する資料やホームページのアドレス、豆知識を脚注に掲載するなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。</p> <p>○ 全学年、「考えてみよう」や「調べてみよう」などの学習方法を提示したり、課題解決の視点等をキャラクターの吹き出しで示したりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。</p> <p>○ 全学年、知ってほしい情報を「もっと知りたい」などのコーナーとして掲載したり、ユニバーサルデザイン等の観点から書体や文字を大きくしたりするなど工夫されている。</p>
その他	

# 体育科調査研究報告書

書名 観点	光文書院 小学保健  304 504
取 扱 内 容	<p>○ 第3,4学年の「健康な生活」については、手や衣服などの汚れや身の回りの環境の整え方について調べる活動を通して理解し、課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようになっている。</p> <p>「体の発育・発達」については、思春期における男女の体の変化を比べ、よりよく発育させるための生活の仕方を考える活動を通して理解し、課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようになっている。</p> <p>○ 第5,6学年の「心の健康」については、自分の経験や事例を基に、心と体の関係や不安や悩みを話し合う活動を通して理解し、課題を見つけ、その解決に向けて思考、判断し、表現できるようになっている。</p> <p>「けがの防止」については、けがや事故の原因、危険の予測や安全な行動の仕方について調べる活動を通して理解し、簡単な手当や、けがを防止するために危険の予測や回避の方法を考え、表現できるようになっている。</p> <p>「病気の予防」については、生活習慣病、喫煙などが健康に及ぼす影響を理解し、課題の解決に向けて思考、判断し、表現できるようになっている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3,4学年では、健康な生活の学習において、「健康に過ごすためには身の回りの環境をどのように整えればよいのか」という課題を設定し、「話し合おう」、「学んだことを生かそう・伝えよう」などが取り扱われている。</p> <p>第5,6学年では、病気の防止の学習において、「むし菌などを予防するためにはどうすればよいのか」という課題を設定し、「調べよう」、「学んだことを生かそう・伝えよう」などが取り扱われている。</p>
内容の 排列、 構成・ 分量等	<p>○ 内容の構成については、体の清潔で手の汚れを学習した後、汚れの洗い残しが多い箇所を考えたり、交通事故の防止について学習した後、安全な行動の仕方について考えたりするなどのように配慮されている。</p> <p>○ 内容の排列については、第3,4学年は、学習したことを広げ、実生活に生かすことができる工夫がされている。第5,6学年は、犯罪被害の防止においても同様の学習活動ができるよう系統的・発展的な学習の工夫がされている。</p> <p>○ 内容の分量については、第3,4学年は、前回より約41%増になっている。第5,6学年は、前回より約33%増になっている。（どちらも判型はA4判）</p>
使用上の 配慮等	<p>○ 全学年、単元の学習内容をストーリー形式で示したり、関連するウェブサイト情報の掲載など、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。</p> <p>○ 全学年、考えを広めるための視点などをキャラクターの吹き出しで提示したり、学習内容の理解を深める科学的な資料を掲載したりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。</p> <p>○ 全学年、単元ごとに学習内容の確認や振り返りができる「学習のまとめ」を掲載したり、基礎的・基本的事項は太字や色文字を使用したりするなど工夫されている。</p>
その他	

# 体育科調査研究報告書

書名 観点	学研教育みらい      みんなの保健  3 0 5      5 0 5
取 扱 内 容	<p>○ 第3,4学年の「健康な生活」については、2人の1日の生活の仕方を比べ、健康な生活の仕方や部屋の環境と健康について考える活動を通して理解し、課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようになっている。</p> <p>「体の発育・発達」については、思春期に起こる体の変化や男女の違い、給食の献立について調べる活動を通して理解し、課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようになっている。</p> <p>○ 第5,6学年の「心の健康」については、心と体が密接に関連している事例や経験、不安や悩みへの対処として呼吸法を実習する活動を通して理解し、課題を見つけ、その解決に向けて思考、判断し、表現できるようになっている。</p> <p>「けがの防止」については、けがや事故などの体験の振り返りや事故を防ぐための工夫について調べる活動を通して理解し、簡単な手当や、けがを防止するために危険の予測や回避の方法を考え、表現できるようになっている。</p> <p>「病気の予防」については、病気の予防や喫煙などが健康に及ぼす影響を理解し、課題の解決に向けて思考、判断し、表現できるようになっている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3,4学年では、健康な生活の学習において、「部屋の明かりをつけたり、空気を入れ換えたりするのはなぜか」という課題を設定し、「考える・調べる」で話し合い、「まとめる・深める」などが取り扱われている。</p> <p>第5,6学年では、心の健康の学習において、「不安や悩みをかかえた時は、どうすればよいか」という課題を設定し、「考える・調べる」、「まとめる・深める」などが取り扱われている。</p>
内 容 の 排 列 ・ 分 量 等	<p>○ 内容の構成については、1日の生活の仕方について学習した後、数日間の生活を記録し振り返ったり、不安や悩みへの対処について学習した後、体と心を体験的な活動からリラックスさせたりするように配慮されている。</p> <p>○ 内容の排列については、第3,4学年は、学習したことを実生活で確かめることができる工夫がされている。第5,6学年は、実感を伴って理解し、実生活に生かすことができるよう系統的・発展的な学習の工夫がされている。</p> <p>○ 内容の分量については、第3,4学年は、前回より約12%増になっている。第5,6学年は、前回より約8%増になっている。（どちらも判型はA4判）</p>
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 全学年、単元のはじめに学習内容や児童がもつ疑問や、関連するウェブサイトの掲載など、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。</p> <p>○ 全学年、教科書のはじめに学習の進め方や、学習内容に関連する職業に携わる人や専門家による解説を掲載するなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。</p> <p>○ 全学年、単元ごとに学習の振り返りや学びを生かした取組ができる「振り返る・深める・つなげる」を掲載したり、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするなど工夫されている。</p>
その他	

# 調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和2年度使用小学校教科用図書の調査研究について（報告）  
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和 元年 7月 17日

第9地区教科用図書調査委員会	外国語	小委員会
----------------	-----	------

委員長 佐藤 大



委員 石橋 壽春

委員 高橋 佳子

委員 佐藤 朋弥

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

学校種目	小 学 校	種 目	外国語	学 年	
調査研究経過					<p>&lt;第1回調査委員会&gt;  ○小委員会委員長の選出（湧別町立湧別小学校佐藤大校長）  ○調査研究内容の確認  ①「教科書採択参考資料」を参考に、「調査の観点例」に基づき具体的な視点を設定した。  ②オホーツク管内としての調査研究の視点を設定した。  ○今後の調査研究日程の確認  ・第2回（7/9）までに、具体的な視点に沿って各自調査研究し、調査結果を持ち寄る。  ○・第3回（7/17）までに、第2回での検討確認を踏まえ、各自調査研究し、調査結果を持ち寄る。  ○調査研究等の役割分担  佐藤委員長（教出、東書、三省堂、開隆堂）  高橋委員（教出、東書、光村、学図、啓林館）  佐藤委員（光村、三省堂、開隆堂、学図、啓林館）</p> <p>&lt;第2回調査委員会&gt;  ○各委員からの調査結果の報告と研究協議  （1）「取扱内容」について  ①「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習の対応について」（10：00～12：00）  佐藤委員：各者とも、インタビューや活動内容を具体的にできるよう工夫し、ペアやグループで考えを広げたり深めたりする内容となっている。  石橋委員：カードの付録、すごろくなどがついて児童の活動が活発になるよう工夫がされている。  （2）URL・QRコードを掲載している箇所数について  佐藤委員長：各者ともに、QRコードを掲載している。音声やイラスト、動画など各者とも聴覚、視覚に配慮している。  高橋委員：家庭でも使用し学習に活用するように紹介するなど各者とも音声を聞くことでより英語に慣れ親しむように工夫されている。</p> <p>&lt;第3回調査委員会&gt;  ○調査研究報告書の作成  ○想定質問の考察  高橋委員：各教科書とも、行事や衣食住に関わる内容が掲載されている。  石橋委員：特に挨拶についてはほとんどの教科書に出てきている。  佐藤委員長：中学校との連携について各教科書で記載がある。  佐藤委員：言語活動の充実について配慮が見られる。</p>

	<p>○調査研究の概要          北海道を題材にした活動の有無、辞書機能、記述欄やアクティビティの種類について調査した。          . . . . .</p> <p>○調査研究報告書の作成          ・調査の観点について、小委員会としての調査研究の内容を記述した。</p>
少数意見及び参考となる事項	特になし。

## 外国語調査研究報告書

書名 観点	東京書籍 NEW HORIZON Elementary English Course NEW HORIZON Elementary English Course Picture Dictionary  5 0 1 5 0 2 6 0 1
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「聞くこと」については、第5学年では、身近で簡単な事柄について、イラスト等と結び付ける活動、第6学年では、身近で簡単な事柄について、必要な情報を得る活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 「読むこと」については、第5学年では、活字体で書かれた文字を見て、大文字であるか小文字であるかを識別する活動、第6学年では、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、カードなどの中から識別する活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 「話すこと[やりとり]」については、第5学年では、色、スポーツ、食べものについて、それぞれ何が好きかをたずねたりする活動、第6学年では、中学校で入りたい部活動、将来なりたい職業をたずねたりして、短い会話をする活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 「話すこと[発表]」については、第5学年では、身近で簡単な事柄を話す活動、第6学年では、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを話す活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 「書くこと」については、第5学年では、文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体の大文字、小文字を書く活動、第6学年では、将来の夢などについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第5学年では、友達へのインタビューをし、紹介カードを作る活動、第6学年では、自分の宝物を紹介したりするなど、ペアやグループで考えを広げたり深めたりする活動などが取り扱われている。</li> </ul>
内容の 排列、 構成・ 分量等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成については、第5学年では、挨拶をしたり、身近なものを英語で言ったり、第6学年では、自分についてスピーチをしたり、宝物を伝え合ったりするなどのように配慮されている。</li> <li>○ 内容の排列については、第5学年では、日本のことを紹介、第6学年では夏休みの思い出を紹介する内容を取り扱うなど、工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量については、第5学年では、総ユニット数は8ユニット、総ページ数は96ページとなっている。（判型はA4判）第6学年では、総ユニット数は8ユニット、総ページ数は96ページとなっている。（判型はA4判）</li> </ul>
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「Let's Chant」や「Let's Sing」を取り上げたり（全学年）、「Small Talk」等のペアやグループ活動による実際にコミュニケーションを図る機会を設けたり（全学年）するなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。</li> <li>○ Unitの冒頭に「Our Goal」を設けたり（全学年）、巻末の「コミュニケーションカード」を設けたり（全学年）するなど、児童が主体的に取り組むことができるように工夫されている。</li> <li>○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年）、識別しやすい配色を用いたり（全学年）するなど工夫されている。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 小学校用教科書目録（令和2年度使用文部科学省）による</li> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>

## 外国語調査研究報告書

書名 観点	開隆堂 Junior Sunshine  503603
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「聞くこと」については、第5学年では、身近で簡単な事柄について、イラスト等と結び付ける活動、第6学年では、身近で簡単な事柄について、必要な情報を得る活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 「読むこと」については、第5学年では、活字体で書かれた文字を見て、大文字であるか小文字であるかを識別する活動、第6学年では、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、夏休みの思い出などの中から識別する活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 「話すこと[やりとり]」については、第5学年では、友達に好きな季節をたずねたり、相手に指示をして道を案内する活動、第6学年では、中学生になったらがんばりたい部活動ややりたい職業とその理由をたずねて、短い会話をする活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 「話すこと[発表]」については、第5学年では、身近で簡単な事柄を話す活動、第6学年では、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを話す活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 「書くこと」については、第5学年では、文字の読み方が発音されるのを聞き、活字体の大文字、小文字を書く活動、第6学年では、感謝の手紙などについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第5学年では、名刺カードを作ったり、自己紹介をして名刺交換したりする活動、第6学年では、日本のことを紹介するなど、ペアやグループで考えを広げたり深めたりする活動などが取り扱われている。</li> </ul>
内容の 排列、 構成・ 分量等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成については、第5学年では、挨拶をしたり、身近なものを英語で言ったり、第6学年では、アクティビティに挑戦したり、友達との共通点を探したり、自分の一日を紹介したりするなどのように配慮されている。</li> <li>○ 内容の排列については、第5学年では、あこがれの人や町の紹介、第6学年では、将来の夢や中学校でしたいことの発表を取り扱うなど、工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量については、第5学年では、総ユニット数は9ユニット、総ページ数は119ページとなっている。（判型はA B判）第6学年では、総ユニット数は11ユニット、総ページ数は127ページとなっている。（判型はA B判）</li> </ul>
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「Let's Sing」や「Let's Chant」を取り上げたり（全学年）、「Let's Try」等のペアやグループ活動による実際にコミュニケーションを図る機会を設けたり（全学年）するなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。</li> <li>○ 表紙裏に「CAN-DOマップ」を設けたり（全学年）、Lessonの最後に「ふりかえりをしよう」を設けたり（全学年）するなど、児童が主体的に取り組むことができるように工夫されている。</li> <li>○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年）、識別しやすい配色を用いたり（全学年）するなど工夫されている。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 小学校用教科書目録（令和2年度使用文部科学省）による</li> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>

## 外国語調査研究報告書

書名 観点	学校図書 JUNIOR TOTAL ENGLISH  504604
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「聞くこと」については、第5学年では、身近で簡単な事柄について、イラスト等と結び付ける活動、第6学年では、身近で簡単な事柄について、必要な情報を得る活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 「読むこと」については、第5学年では、活字体で書かれた文字を見て、大文字か小文字であるかを識別する活動、第6学年では、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、中学校生活に向けた思いを発表する文などの中から識別する活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 「話すこと[やりとり]」については、第5学年では、好きな教科をたずねたり、相手に指示をして道を案内し、それに応じたりする活動、第6学年では、友達を紹介したり、入りたい部活動をたずねたりして、短い会話をする活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 「話すこと[発表]」については、第5学年では、身近で簡単な事柄を話す活動、第6学年では、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを話す活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 「書くこと」については、第5学年では、文字の読み方が発音されるのを聞き、活字体の大文字、小文字を書く活動、第6学年では、中学校での希望について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第5学年では、誕生日をたずねたり、誕生日にほしいものをたずねたりする活動、第6学年では、道をたずねたり、観光で行きたい場所をたずね合ったりするなど、ペアやグループで考えを広げたり深めたりする活動などが取り扱われている。</li> </ul>
内容の 排列、 構成・ 分量等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成については、第5学年では、挨拶をしたり、身近なものを英語で言ったり、第6学年では、アクティビティに挑戦したり、日本の祭りについてたずねたり、夏休みの思い出を伝えたりするなどのように配慮されている。</li> <li>○ 内容の排列については、第5学年では、誕生日やほしいものを伝え合う内容、第6学年では、小学校の思い出を伝え合う内容を取り扱うなど工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量については、第5学年では、総ユニット数は10ユニット、総ページ数は157ページとなっている。（判型はA4判）第6学年では、総ユニット数は10ユニット、総ページ数は153ページとなっている。（判型はA4判）</li> </ul>
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「Songs for Lessons」を取り上げたり（全学年）、「Use &amp; Check」等のペアやグループ活動による実際にコミュニケーションを図る機会を設けたり（全学年）するなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。</li> <li>○ Lessonの冒頭に「レッスンの目標」を設けたり（全学年）、Lessonの最後に「Check Time」を設けたり（全学年）するなど、児童が主体的に取り組むことができるように工夫されている。</li> <li>○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年）、識別しやすい配色を用いたり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 小学校用教科書目録（令和2年度使用文部科学省）による</li> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>

## 外国語調査研究報告書

書名 観点	三省堂 CROWN Jr.  505605
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「聞くこと」については、第5学年では、身近で簡単な事柄について、イラスト等と結び付ける活動、第6学年では、身近で簡単な事柄について、必要な情報を得る活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 「読むこと」については、第5学年では、活字体で書かれた文字を見て、大文字であるか小文字であるかを識別する活動、第6学年では音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、本の表紙などの中から識別する活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 「話すこと[やりとり]」については、第5学年では、自分の持っているものを伝えたり、相手に指示をして道を案内し、それに応じたりする活動、第6学年では、正月やお祭りについて伝えたり、自分のプロフィールを伝えたりして、短い会話をする活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 「話すこと[発表]」については、第5学年では、身近で簡単な事柄を話す活動、第6学年では、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを話す活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 「書くこと」については、第5学年では、文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体の大文字、小文字を書く活動、第6学年では、職業などについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第5学年では、自分の好きな食べものや誕生日にほしいものを伝え合う活動、第6学年では、夏休みに行ったところや週末について伝え合うなど、ペアやグループで、考えを広げたり深めたりする活動などが取り扱われている。</li> </ul>
内容の 排列、 構成・ 分量等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成については、第5学年では、挨拶をしたり、身近なものを英語で言ったり、第6学年では、学校を紹介したり夏休みにしたことを説明するなどのように配慮されている。</li> <li>○ 内容の排列については、第5学年では、先生を紹介する活動、第6学年では、小学校での思い出を紹介する内容を取り扱うなど、工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量については、第5学年では、総ユニット数は10ユニット、総ページ数は128ページとなっている。（判型はA B判）第6学年では、総ユニット数は10ユニット、総ページ数は128ページとなっている。（判型はA B判）</li> </ul>
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「Sound Chant」や「Word Chant」を取り上げたり（全学年）、「Talk to Friends」等のペアやグループ活動による実際にコミュニケーションを図る機会を設けたり（全学年）するなど、児童の学習意欲が高めるように工夫されている。</li> <li>○ 巻末に「CAN-DOリスト」を設けたり（全学年）、「Words &amp; Phrases」を設けたり（全学年）するなど、児童が主体的に取り組むことができるように工夫されている。</li> <li>○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年）、識別しやすい配色を用いたり（全学年）するなど工夫されている。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 小学校用教科書目録（令和2年度使用文部科学省）による</li> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>

## 外国語調査研究報告書

書名 観点	教育出版 ONE WORLD Smiles  505606
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「聞くこと」については、第5学年では、身近で簡単な事柄について、イラスト等と結び付ける活動、第6学年では、身近で簡単な事柄について、必要な情報を得る活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 「読むこと」については、第5学年では、活字体で書かれた文字を見て、大文字であるか小文字であるかを識別する活動、第6学年では、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、中学校でしたいことの文などの中から識別する活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 「話すこと[やりとり]」については、第5学年では、好きなものをたずねたり、相手に指示をして道を案内し、それに応じたりする活動、第6学年では、入りたい部活動をたずねたり、楽しみたい学校行事をたずねたりして、短い会話をする活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 「話すこと[発表]」については、第5学年では、身近で簡単な事柄を話す活動、第6学年では、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを話す活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 「書くこと」については、第5学年では、文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体の大文字、小文字を書く活動、第6学年では、将来の夢などについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第5学年では、ほしいものを聞いて注文を完成させたり、オリジナル・メニューを考えたりする活動、第6学年では、職業についてたずね合ったりするなど、ペアやグループで考えを広げたり深めたりする活動などが取り扱われている。</li> </ul>
内容の 排列、 構成 ・ 分量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成については、第5学年では、挨拶をしたり、身近なものを英語で言ったり、第6学年では、自分の町にあるおすすめの方法についてたずね合ったりするなどのように配慮されている。</li> <li>○ 内容の排列については、第5学年では、レストランのロールプレイ、第6学年では、中学校でしたいことを発表する内容を取り扱うなど、工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量については、第5学年では、総ユニット数は9ユニット、総ページ数は118ページとなっている。（判型はA B判）第6学年では、総ユニット数は9ユニット、総ページ数は112ページとなっている。（判型はA B判）</li> </ul>
使用 上の 配慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「Let's Say It Together」や「Let's Sing」を取り上げたり（全学年）、「Activity」等のペアやグループ活動による実際にコミュニケーションを図る機会を設けたり（全学年）するなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。</li> <li>○ Lessonの最後に「ふりかえろう」を設けたり（全学年）、巻末に「My Word Bank」を設けたり（全学年）するなど、児童が主体的に取り組むことができるように工夫されている。</li> <li>○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年）、識別しやすい配色を用いたり（全学年）するなど工夫されている。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 小学校用教科書目録（令和2年度使用文部科学省）による</li> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>

## 外国語調査研究報告書

書名 観点	<p style="text-align: center;">光村図書 Here We Go!</p> <p style="text-align: center;">5 0 7 6 0 7</p>
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「聞くこと」については、第5学年では、身近で簡単な事柄について、イラスト等と結び付ける活動、第6学年では、身近で簡単な事柄について、必要な情報を得る活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 「読むこと」については、第5学年では、活字体で書かれた文字を見て、大文字か小文字であるかを識別する活動、第6学年では、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、中学校でがんばりたいことを発表する文などの中から識別する活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 「話すこと[やりとり]」については、第5学年では、どんなものが好きかをたずねたり、相手に指示をして道を案内し、それに応じたりする活動、第6学年では、入りたい部活動をたずねたり、がんばりたい教科をたずねたりして、短い会話をしている活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 「話すこと[発表]」については、第5学年では、身近で簡単な事柄を話す活動、第6学年では、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを話す活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 「書くこと」については、第5学年では、文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体の大文字、小文字を書く活動、第6学年では、職業などについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第5学年では、道案内をしたりする活動、第6学年では、思い出に残る行事を伝え合ったり、その理由を伝えたりするなど、ペアやグループで考えを広げたり深めたりする活動などが取り扱われている。</li> </ul>
内 容 の 排 列 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成については、第5学年では、挨拶をしたり、身近なものを英語で言ったり、第6学年では、友達と夏休みの思い出をインタビューし合ったり、自分たちの町を紹介したりするなどのように配慮されている。</li> <li>○ 内容の排列については、第5学年では、町の道案内、第6学年では、中学校でがんばりたいことを発表する内容を取り扱うなど、工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量については、第5学年では、総ユニット数は9ユニット、総ページ数は140ページとなっている。（判型はA B判）第6学年では、総ユニット数は9ユニット、総ページ数は144ページとなっている。（判型はA B判）</li> </ul>
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「Let's chant.」や「英語の歌」を取り上げたり（全学年）、「You can do it!」等のペアやグループ活動による実際にコミュニケーションを図る機会を設けたり（全学年）するなど、児童の学習意欲が高めるように工夫されている。</li> <li>○ 教科書の冒頭に「CAN-DO」を設けたり（全学年）、Lessonの最後に「ふりかえろう」を設けたり（全学年）するなど、児童が主体的に取り組むことができるように工夫されている。</li> <li>○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年）、識別しやすい配色を用いたり（全学年）するなど工夫されている。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 小学校用教科書目録（令和2年度使用文部科学省）による</li> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>

## 外国語調査研究報告書

書名 観点	啓林館 Blue Sky elementary  508 608
取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「聞くこと」については、第5学年では、身近で簡単な事柄について、イラスト等と結び付ける活動、第6学年では、身近で簡単な事柄について、必要な情報を得る活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 「読むこと」については、第5学年では、活字体で書かれた文字を見て、大文字か小文字であることを識別する活動、第6学年では、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、円グラフなどの中から識別する活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 「話すこと[やりとり]」については、第5学年では、友達の誕生日をたずねたり、相手に指示をして道を案内し、それに応じたりする活動、第6学年では、将来つきたい職業をたずねたり、やってみたい部活動をたずねたりして、短い会話をする活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 「話すこと[発表]」については、第5学年では、身近で簡単な事柄を話す活動、第6学年では、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを話す活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 「書くこと」については、第5学年では、文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体の大文字、小文字を書く活動、第6学年では、中学校での希望を音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第5学年では、店の場所を伝えたり、道案内をしたりする活動、第6学年では、思い出の学校行事ランキングを作成したり、学校行事でしたことを書いたりするなど、ペアやグループで考えを広げたり深めたりする活動などが取り扱われている。</li> </ul>
内容の 排列、 構成・ 分量等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成については、第5学年では、挨拶をしたり、身近なものを英語で言ったり、第6学年では、好きなものを伝えたり、都道府県を紹介したりするなどのように配慮されている。</li> <li>○ 内容の排列について、第5学年では、オリジナルランチを考えて発表する内容、第6学年では、地域のよさを発表する内容を取り扱うなど、工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量については、第5学年では、総ユニット数は9ユニット、総ページ数は136ページとなっている。（判型はA B判）第6学年では、総ユニット数は9ユニット、総ページ数は136ページとなっている。（判型はA B判）</li> </ul>
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「Jingle」や「Chant」を取り上げたり（全学年）、「Activity」等のペアやグループ活動による実際にコミュニケーションを図る機会を設けたり（全学年）するなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。</li> <li>○ Lessonの冒頭に「GOAL」を設けたり（全学年）、Lessonの最後に「Looking Back」を設けたり（全学年）するなど、児童が主体的に取り組むことができるように工夫されている。</li> <li>○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年）、識別しやすい配色を用いたり（全学年）するなど工夫されている。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 小学校用教科書目録（令和2年度使用文部科学省）による</li> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>

# 調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和2年度使用小学校教科用図書の調査研究について（報告）  
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和 元年 7月17日

第9地区教科用図書調査委員会	特別の教科 道徳	小委員会
----------------	----------	------

委員長 澁谷 順



委員 神田 秀樹

委員 境田 正吾

委員 山谷 綾

委員 奥村 勅子

委員 平出 寿

委員 吉田 哲

委員

委員

委員

委員

学校種目	小 学 校	種 目	特別な教科 道徳	学 年																			
調査研究経過	<第1回調査委員会>																						
	1 小委員会委員長の選出 湧別町立芭露学園 澁谷 順 校長																						
	2 調査研究内容の確認																						
	(1) 「教科書採択参考資料」を参考にして、作業の概要と手順を確認した。																						
	(2) 多様な視点で調査ができるよう、担当する教科書を複数人で担当するよう分担を決めた。																						
	<table border="1" data-bbox="587 707 1310 1055"> <thead> <tr> <th data-bbox="587 707 890 750">出 版 社</th> <th data-bbox="890 707 1310 750">担 当 者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="587 750 890 792">東京書籍</td> <td data-bbox="890 750 1310 792">澁 谷 ・ 山 谷</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 792 890 835">学校図書</td> <td data-bbox="890 792 1310 835">神 田 ・ 奥 村</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 835 890 878">教育出版</td> <td data-bbox="890 835 1310 878">境 田 ・ 澁 谷</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 878 890 920">光村図書出版</td> <td data-bbox="890 878 1310 920">山 谷 ・ 神 田</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 920 890 963">日本文教出版</td> <td data-bbox="890 920 1310 963">奥 村 ・ 境 田</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 963 890 1005">光文書院</td> <td data-bbox="890 963 1310 1005">澁 谷 ・ 山 谷</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 1005 890 1048">学研教育みらい</td> <td data-bbox="890 1005 1310 1048">神 田 ・ 奥 村</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 1048 890 1055">廣済堂あかつき</td> <td data-bbox="890 1048 1310 1055">境 田 ・ 澁 谷</td> </tr> </tbody> </table>					出 版 社	担 当 者	東京書籍	澁 谷 ・ 山 谷	学校図書	神 田 ・ 奥 村	教育出版	境 田 ・ 澁 谷	光村図書出版	山 谷 ・ 神 田	日本文教出版	奥 村 ・ 境 田	光文書院	澁 谷 ・ 山 谷	学研教育みらい	神 田 ・ 奥 村	廣済堂あかつき	境 田 ・ 澁 谷
	出 版 社	担 当 者																					
	東京書籍	澁 谷 ・ 山 谷																					
	学校図書	神 田 ・ 奥 村																					
	教育出版	境 田 ・ 澁 谷																					
光村図書出版	山 谷 ・ 神 田																						
日本文教出版	奥 村 ・ 境 田																						
光文書院	澁 谷 ・ 山 谷																						
学研教育みらい	神 田 ・ 奥 村																						
廣済堂あかつき	境 田 ・ 澁 谷																						
(3) 報告書の具体的な視点を確認した。																							
①取り扱う学年の決定																							
②取り上げる観点の決定																							
③内容の構成・排列・分量等の確認																							
④使用上の配慮等の観点の確認																							
⑤その他の観点についての確認																							
⑥その他体裁等の確認																							
3 今後の調査研究日程の確認																							
(1) 第2回会議までに、「教科書採択資料」を参考にして、各自で調査研究を行い、その調査結果を持ってくることを確認した。																							
<第2回調査委員会>																							
1 各委員からの調査結果の報告と研究協議																							
(1) 報告書の具体的な検討																							
全員で持ち寄った報告書を検討し、文言等の整理を行った。																							
(2) 報告書の原案作成																							
道教委からの資料をもとに、記述視点、記述量、文末表現や体裁等を整えるよう協議し、作成を行った。																							
2 今後の調査研究日程の確認																							
(1) 第3回会議までに分担した報告書の最終版を作成して持参する。																							
(2) 第3回会議までに教材分類表を作成することとした。																							
<第3回調査委員会>																							
1 報告書(様式3)の最終確認																							
(1) 全員で視点に沿った記述となっているか、表記上の統一がなされ																							

	<p>ているかを確認。</p> <p>2 各委員からの教材分類表の提示と項目の確認</p> <p>(1) 項目を「北海道」「いじめ」「情報モラル」「オリンピック・パラリンピック・スポーツ」「防災・災害」「伝統・文化」「国際理解」「キャリア」「福祉」とした。</p> <p>(2) 教材分類表を作成し、全員で協議・確認を行った。</p> <p>(3) 想定質問についての協議</p> <p>(4) 想定質問に対する応答集の作成</p> <p>○調査研究の概要  .....</p> <p>○調査研究報告書の作成  ・調査の観点について、小委員会としての調査研究の内容を記述した。</p>
少数意見及び参考となる事項	

# 道徳科調査研究報告書

書名 観点	東京書籍 新訂 新しい道徳 1 0 1   2 0 1   3 0 1   4 0 1   5 0 1   6 0 1
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生命の尊厳については、例えば、第2学年においては、どのようなときに生きていると感じるかや自分が生まれたとき、周りの人はどのようなことを思ったかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、友だちが本当のことをごまかそうとしたら、どうするかを考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、自分や他人の生命について、どのようなことを大切にしているかや生きているからこそ感じることを、できることは何かを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、知らない人に親切にしている人を見たとき、どのようなことを感じたかを考える活動を取り上げている。</li> <li>○ 自然については、例えば、第2学年においては、自然や生き物を見たりさわったりしたとき、どのようなことが心に残るかを考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、身近な自然を守るためにできることは、どのようなことがあるかを考える活動を取り上げている。</li> <li>○ 伝統と文化については、例えば、第2学年においては、自分が住んでいる町や国のどのようなところが好きかを考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、自分の生まれ育った地域で大切にされている伝統や文化には、どのようなものがあるかを考える活動を取り上げている。</li> <li>○ 情報化への対応については、例えば、第2学年においては、たんじょう日カード等を扱い、言葉の伝え方で、相手がどのような気持ちになるかを考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、インターネットを扱い、自分や他の人の個人情報を守るためには、どのようなことに気を付けなければいけないかを考える活動を取り上げ、「節度、節制」や「規則の尊重」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</li> </ul>
内 容 の 排 列 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、言語活動では「出会う・ふれ合う」等を配置し、問題解決的な学習では「問題を見つけて考える」を配置し、体験的な学習では、体験活動との関連を図った教材を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量については、第5学年では「主として自分自身に関すること」9教材、「主として人との関わりに関すること」8教材、「主として集団や社会との関わりに関すること」15教材、「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」9教材、「複数の内容項目が含まれている教材」12教材である。</li> </ul>
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自らを振り返るための工夫については、1年間の学習を振り返る「かがやく自分に」、「学習のまとめ」等を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</li> <li>○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、家庭や地域との連携を促す「付録つながる広がる」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</li> <li>○ 使用上の便宜については、道徳の学習の進め方を示すページを設けている。また、カラーユニバーサルデザイン等を採用している。</li> </ul>
その他	

# 道徳科調査研究報告書

書名 観点	学校図書 かがやけ みらい 小学校道徳					
観点	102	202	302	402	502	602
	103	203	303	403	503	603
取 扱 内 容	<p>○ 生命の尊厳については、例えば、第2学年においては、どのようなときに、生きていることがすばらしいと感じるかや新しい命が生まれることについて、どのようなことを感じたかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、みんなが笑顔になるために、大切なことは何かを考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、命とはどのようなものかや、今を生きていることをどのように感じているかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、相手の気持ちや立場を考えて、思いやりのある行動をするためには、どのようなことが必要かを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 自然については、例えば、第2学年においては、これから、どのような気持ちで生き物と接していくかを考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、自然と共に生きるために、どのようなことが必要かを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 伝統と文化については、例えば、第2学年においては、自分の生まれ育った町のよいところや自慢できるものは、どのようなものがあるかを考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、伝統や文化を陰で支える人は、どのような思いで受け継いでいるかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 情報化への対応については、例えば、第2学年においては、オンラインゲームを扱い、やってはいけないことには、どのようなことがあるかを考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、電話を使い、お互いの気持ちを伝え合うにはどのようなことに気を付けたらよいかを考える活動を取り上げ、「節度、節制」や「規則の尊重」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</p>					
内 容 の 排 列 ・ 構 成 ・ 分 量 等	<p>○ 内容の構成・排列については、言語活動では「かんがえよう」を配置し、問題解決的な学習では、主体的に道徳的価値に気づき焦点化して考える発問を配置し、体験的な学習では「やってみよう」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。</p> <p>○ 内容の分量については、第5学年では「主として自分自身に関すること」9教材、「主として人との関わりに関すること」7教材、「主として集団や社会との関わりに関すること」13教材、「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」6教材、「複数の内容項目が含まれている教材」5教材である。</p>					
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 自らを振り返るための工夫については、「つなげていこう」を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</p> <p>○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、別冊に「保護者の方へ」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</p> <p>○ 使用上の便宜については、道徳の学習の進め方を示すページを設けている。また、カラーユニバーサルデザイン等を採用している。</p>					
そ の 他						

# 道徳科調査研究報告書

書名 観点	教育出版 小学道徳 はばたこう明日へ 1 0 4    2 0 4    3 0 4    4 0 4    5 0 4    6 0 4
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生命の尊厳については、例えば、第2学年においては、命という言葉聞いて、どのようなことを思い浮かべるかや今まで生きてきて楽しかったことやできるようになったことは何かを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、友だちと仲良くするために大切なことは、どのようなことか考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、かけがえのない命を未来にどのように伝えていくかや命を輝かせるとは、どのようなことか考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、友だちとかかわるときに大切にしたいことは、どのようなことがあるか考える活動を取り上げている。</li> <li>○ 自然については、例えば、第2学年においては、春の季節のよいところや身の回りにある春は、どのようなものがあるか考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、自然環境を守るために自分たちができることはどのようなことか考える活動を取り上げている。</li> <li>○ 伝統と文化については、例えば、第2学年においては、自分の生まれ育ったふるさとや住んでいる町のよさは何かを考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、自分が住む地域の伝統や文化を受け継ぐときに必要なことは、どのようなことか考える活動を取り上げている。</li> <li>○ 情報化への対応については、例えば、第2学年においては、電話を扱い、知らない相手から学級の友だちの電話番号を教えてほしいと言われたときの受け答えをどうするかを考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、携帯電話を扱いインターネットでのいじめを防ぐために大切なことは、どのようなことか考える活動を取り上げ、「節度、節制」や「規則の尊重」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</li> </ul>
内容の 排列、 構成・ 分量等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、言語活動では、自分や友だちの考えを記入する欄や「学びの手引き」を配置し、問題解決的な学習では、学習のねらいを明確にする「導入」を配置し、体験的な学習では「やってみよう」を配置し、学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量については、第5学年では「主として自分自身に関すること」9教材、「主として人との関わりに関すること」6教材、「主として集団や社会との関わりに関すること」14教材、「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」8教材、「複数の内容項目が含まれている教材」4教材である。</li> </ul>
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自らを振り返るための工夫については、一年間の学習で心に残った授業とその理由を記入する「一年間の道徳の学習をふり返ろう」を配置し、道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</li> <li>○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、学校と家庭との連携を促すことを目的とした「家の人から一言」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</li> <li>○ 使用上の便宜については、道徳の学習の進め方を示すページを設けている。また、カラーユニバーサルデザイン等を採用している。</li> </ul>
その他	

# 道徳科調査研究報告書

書名 観点	光村図書 道徳 きみが いちばん ひかるとき  1 0 5    2 0 5    3 0 5    4 0 5    5 0 5    6 0 5
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生命の尊厳については、例えば、第2学年においては、命がつながっていると感じるのは、どのようなときかや命は大切だと感じるのは、どのようなときかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、みんなで楽しく過ごすためにできることは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、精一杯生きるとは、どのような生き方をすることかや生きていることの不思議さやすばらしさを、どのようなときに感じるかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、友だちとすれ違いが起きたとき、どのようにするとよいかを考える活動を取り上げている。</li> <li>○ 自然については、例えば、第2学年においては、身近にある自然で、大切にしたいと思うのは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、自然と人は、どのようにしてかかわっていくとよいかを考える活動を取り上げている。</li> <li>○ 伝統と文化については、例えば、第2学年においては、おせち料理の他に、願いを込めて作られた日本の料理にはどのようなものがあるかを考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、和菓子のように、大切にしたい日本の伝統や文化には、どのようなものがあるかを考える活動を取り上げている。</li> <li>○ 情報化への対応については、例えば、第2学年においては、自分が作った作品を扱い、勝手にまねをされてしまったときにどのような気持ちになるかを考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、インターネットを扱い、情報を発信するときに気を付けなければならないことは何かを考える活動を取り上げ、「節度、節制」や「規則の尊重」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</li> </ul>
内 容 の 排 列 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、言語活動では「キャラクターによる問いかけ」等を配置し、問題解決的な学習では「考えよう・話し合おう」を配置し、体験的な学習では「演じて考えよう」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量については、第5学年では「主として自分自身に関すること」10教材、「主として人との関わりに関すること」11教材、「主として集団や社会との関わりに関すること」14教材、「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」8教材、「複数の内容項目が含まれている教材」8教材である。</li> </ul>
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自らを振り返るための工夫については、「学びの記録」を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</li> <li>○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、「夏休みの前に」、「冬休みの前に」等を配置し、家庭や地域等社会との共通理解を深めることができるようになっている。</li> <li>○ 使用上の便宜については、道徳の学習の進め方を示すページを設けている。また、カラーユニバーサルデザイン等を採用している。</li> </ul>
その他	

## 道徳科調査研究報告書

書名 観点	日本文教出版 小学道徳 生きる力 小学道徳 生きる力 道徳ノート 106 206 306 406 506 606 107 207 307 407 507 607
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生命の尊厳については、例えば、第2学年においては、自分が大きくなったと思うのは、どのようなときかや生きているからできると思うことは、どのようなことを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、人によって違った態度を取らないためには、どのような考えが大切かを考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、精一杯生きるとは、どのような生き方かや命の大切さについて、感じたこと、考えたことはどのようなことを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、友だちとの関係で、どのようなことを大切にしているかを考える活動を取り上げている。</li> <li>○ 自然については、例えば、第2学年においては、生き物を観察したり生き物について話したりしたことは、どのようなことがあるかを考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、自然を大切にしたいと思ったことには、どのようなことがあるかを考える活動を取り上げている。</li> <li>○ 伝統と文化については、例えば、第2学年においては、自分の生まれ育った地域の祭りには、どのような願いが込められているかを考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、文化や伝統を大切に守り続けることのよさとは、どのようなことを考える活動を取り上げている。</li> <li>○ 情報化への対応については、例えば、第2学年においては、電話を扱い、どうして相手によって話し方を変えるのかを考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、携帯電話を扱い、友だちとの関係で、大切にしていることはどのようなことを考える活動を取り上げることで、「節度、節制」や「規則の尊重」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</li> </ul>
内 容 の 排 列 ・ 構 成 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、言語活動では「話し合ってみよう」等を配置し、問題解決的な学習では「学習の手引き」を配置し、体験的な学習では「学習の手引き」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量については、第5学年では「主として自分自身に関すること」8教材、「主として人との関わりに関すること」9教材、「主として集団や社会との関わりに関すること」14教材、「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」7教材、「複数の内容項目が含まれている教材」7教材である。</li> </ul>
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自らを振り返るための工夫については、別冊に、自分の意見や友だちの意見、話合いの内容などを記入する自由記述欄を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</li> <li>○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、別冊に、家庭や地域社会との連携による指導への配慮として「保護者記入欄」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</li> <li>○ 使用上の便宜については、道徳の学習の進め方を示すページを設けている。また、カラーユニバーサルデザイン等を採用している。</li> </ul>
その他	

# 道徳科調査研究報告書

書名 観点	光文書院 小学道徳 ゆたかな心  1 0 8    2 0 8    3 0 8    4 0 8    5 0 8    6 0 8
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生命の尊厳については、例えば、第2学年においては、命の大切さについて、どのようなことがわかったかや自分や友だちの生きる力を感じる場面は、どのような場面かを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、一人一人を大切にすることが大事なことは、どのようなときかを考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、自分の命が支えられていると感じるのは、どのようなときかやよりよく生きるということは、どのようなことを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、自分の短所を改め、長所を伸ばしていくためには、どうするとよいかを考える活動を取り上げている。</li> <li>○ 自然については、例えば、第2学年においては、自分の好きな花や木のどのようなところが好きかを考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、自然の仕組みを守るために自分ができることは、どのようなことを考える活動を取り上げている。</li> <li>○ 伝統と文化については、例えば、第2学年においては、自分の生まれ育った地域の人たちの心がこもった活動は、どのようなことを考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、世界遺産から、日本や日本人のどのようなよさが分かるかを考える活動を取り上げている。</li> <li>○ 情報化への対応については、例えば、第2学年においては、パソコンやスマートフォンを扱い、どのようなマナーが大切かを考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、スマートフォン等を扱い、使い方が原因で問題が起こらないようにするためには、どのようなことに気を付けるとよいかを考える活動を取り上げ、「節度、節制」や「規則の尊重」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</li> </ul>
内容の 排列、 構成・ 分量等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、言語活動では「ことばのたからもの」等を配置し、問題解決的な学習では「キャラクターの投げかけ」を配置し、体験的な学習では「みんなでやってみよう！」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量については、第5学年では「主として自分自身に関すること」12教材、「主として人との関わりに関すること」11教材、「主として集団や社会との関わりに関すること」17教材、「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」11教材、「複数の内容項目が含まれている教材」2教材である。</li> </ul>
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自らを振り返るための工夫については、「学びの足あと」を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</li> <li>○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、家庭や地域の人たちとの関わりをもたせる活動を提示した「ひろげる」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</li> <li>○ 使用上の便宜については、道徳の学習の進め方を示すページを設けている。また、カラーユニバーサルデザイン等を採用している。</li> </ul>
その他	

# 道徳科調査研究報告書

書名 観点	学研教育みらい 新・みんなの道徳 109 209 309 409 509 609
取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生命の尊厳については、例えば、第2学年においては、自分の命を宝物と感じるのは、どのようなときかや生きていてよかったと思うのは、どのようなときかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、相手のことを思って行動できたとき、どのような気持ちだったかを考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、これまでに命の大切さを感じたことは、どのようなことがあるかや命の重さについて実感したことは、どのようなことがあるかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、いじめられている人を見かけたとき、どうしたいと思うかを考える活動を取り上げている。</li> <li>○ 自然については、例えば、第2学年においては、身近な動物や植物のために、自分にできることは何かを考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、環境を破壊する心、守る心は、どのような気持ちから生まれるかを考える活動を取り上げている。</li> <li>○ 伝統と文化については、例えば、第2学年においては、自分の住んでいる地域で好きなところは、どのようなところかを考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、自分たちが受け継ぐ日本人の心には、どのようなものがあるかを考える活動を取り上げている。</li> <li>○ 情報化への対応については、例えば、第2学年においては、作成したニュースの記事を扱い、間違ったことが広まると、どのようなようになるかを考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、インターネットを扱い、情報の発信者として、どのようなことが大切かを考える活動を取り上げ、「節度、節制」や「規則の尊重」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</li> </ul>
内容の構成・ 排列、分量等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、言語活動では「学び方のページ」や思いや考えを可視化する書き込み欄を配置し、問題解決的な学習では「深めよう」を配置し、体験的な学習では「やってみよう」を配置し、学んだ内容から、道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量については、第5学年では「主として自分自身に関すること」9教材、「主として人との関わりに関すること」9教材、「主として集団や社会との関わりに関すること」9教材、「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」8教材、「複数の内容項目が含まれている教材」4教材である。</li> </ul>
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自らを振り返るための工夫については、心に残ったことなどを記入する「心の宝物」を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</li> <li>○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、家庭生活や地域社会に関わりのある教材を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</li> <li>○ 使用上の便宜については、道徳の学習の進め方を示すページを設けている。また、カラーユニバーサルデザイン等を採用している。</li> </ul>
その他	

## 道徳科調査研究報告書

書名 観点	廣濟堂あかつき	みんなで考え、話し合う	小学生の道徳	自分を見つめ、考える	道徳ノート
観点	1 1 0	2 1 0	3 1 0	4 1 0	5 1 0
	1 1 1	2 1 1	3 1 1	4 1 1	5 1 1
取 扱 内 容	<p>○ 生命の尊厳については、例えば、第2学年においては、命の大切さを感じるときは、どのようなときかや命とは、どのようなものだと思うかを考える活動を取り上げている。特にいじめの問題については、誰かをいじめたり、いじわるをしたりする人がいたら、どのようにしたらよいかを考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、なぜ、命はかけがえのないものなのかや命を大切に生きていくということは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。特にいじめの問題については、いじめを許さない、見過ごさないために、自分はどうのような心を育てたいかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 自然については、例えば、第2学年においては、動物の命を大切にするために、どのようにしたらよいかを考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、自然を大切にするために、どのようなことが必要かを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 伝統と文化については、例えば、第2学年においては、自分の生まれ育った町には、どのような祭りがあるかを考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、伝統や文化を受け継ぎ、発展させていくことは、なぜ大切なのかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 情報化への対応については、例えば、第2学年においては、作成したニュースの記事を扱い、間違ったことが広まると、どのようになるかを考える活動を取り上げている。また、第5学年においては、インターネットを扱い、情報を得たり、発信したりするときに、どのようなことに心がけなければならないかを考える活動を取り上げ、「節度、節制」や「規則の尊重」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</p>				
内 容 の 排 列 ・ 分 量 等	<p>○ 内容の構成・排列については、言語活動では「考えよう 話し合おう」や別冊に記録ページを配置し、問題解決的な学習では「学習の道すじ」を配置し、体験的な学習では、役割演技を促す発問を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。</p> <p>○ 内容の分量については、第5学年では「主として自分自身に関すること」11教材、「主として人との関わりに関すること」8教材、「主として集団や社会との関わりに関すること」10教材、「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」6教材、「複数の内容項目が含まれている教材」4教材である。</p>				
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 自らを振り返るための工夫については、別冊に、心に残った教材やその理由を記入する「心に残っている授業の記録」を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</p> <p>○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、別冊に、家の人に見てもらったことを記録するチェック欄を設けた「心のしおり」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</p> <p>○ 使用上の便宜については、道徳の学習の進め方を示すページを設けている。また、カラーユニバーサルデザイン等を採用している。</p>				
そ の 他					

# 調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和2年度使用小・中学校特別支援学級教科用図書（一般図書）の  
調査研究について（報告）

さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和元年 7月17日

第9地区教科用図書調査委員会	特別支援	小委員会
----------------	------	------

委員長 石 塚 洋 司



委員 高 橋 俊 助

委員 土 田 和 美

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

学校種目		種 目	特別支援	学 年	
調査研究経過		<p>&lt;第1回調査委員会&gt;  ○小委員会委員長の選出(紋別市立紋別小学校 石塚 洋司 校長)  ○調査研究内容の確認  (1)「教科書採択参考資料」を参考に、作業の概要と手順を認めた。  (2) 担当する教科書を分担した。  ・ 1号・ 2号委員 3名ですべての教科用図書の調査を行う。  石塚洋司委員 高橋俊助委員 土田和美委員</p> <p>○今後の調査研究日程の確認  (1)第2回までに「教科書採択参考資料」を参考に、各自調査研究し調査結果を持ち寄ることにした。</p> <p>&lt;第2回調査委員会&gt;  ○各委員会から調査結果の報告と研究協議  (1)「取扱内容」等について協議  3名の委員で図書について調査研究し、内容の程度、配列、記述量、使用上配慮などを協議した。  (2)報告書の確認と精査  報告書の内容を委員で共有し、必要な修正を加えた。</p> <p>○今後の調査研究日程の確認  (1)第3回までに調査項目を設定し、項目の内容について引き続き調査をする。</p> <p>&lt;第3回調査委員会&gt;  ○調査研究の概要  (1)図書の取扱内容、内容の程度・配列・分量、使用上の配慮などについて研究をすすめた。  (2)図書についての構成・配慮・工夫の観点から研究した。</p> <p>○議論の経過  (1)障害の種類や状態、発達の段階を考慮した内容になっているか検討した。  (2)児童・生徒の興味関心や現代の生活習慣などに配慮した内容となっているか検討した。  (3)文章表現や使用している言葉が、障害や発達段階に配慮したものになっているか検討した。  (4)イラストや写真、図表などが効果的に活用され、児童・生徒にとって親しみやすいものになっているか検討した。</p> <p>○調査研究報告書の作成  (1)研究したことをもとに、図書の構成・配慮・工夫の観点から調査報告作成書を作成した。  (2)作成した調査研究報告書をもとに、3名の委員でさらに議論を深め、報告書を修正しながら、調査研究をまとめた。</p>			
少数意見及び参考となる事項		すべて図書に関して3名の委員で議論したが、見解が大きく異なることはなかった。調査研究をもとに共通理解を形成しながら報告書を作成した。			

教科名		国語			
書名	発行者	取扱内容 内容の程度・排列・分量等 使用上の配慮等	障害の種類	発達の段階	備考
	著者名				
	価格				
「おれたち、 ともだち！」 絵本 ともだちや	リーブル	食べ物や飲み物のイラストのしりとりを通して、言葉の響きやリズムに親しみ、文字に親しめるよう構成されている。巻末には、索引の一覧、楽譜つきの歌が掲載されており、様々な場面で言語活動に使用できるよう考慮されている。子どもになじみ深い食べ物や飲み物で構成されており、楽しみながら食べ物の名前を学ぶことができるよう工夫されている。	視聴知肢病	B	体裁は 20.4×14.8cm でページ数は 142 ページである。表紙はビニール装丁厚紙で、堅ろうである。平成 17 年(2005 年)発行
	さいとうしのぶ				
	1, 800				
「おれたち、 ともだち！」 絵本 ともだちや	偕成社	食べ物や飲み物のイラストのしりとりを通して、言葉の響きやリズムに親しみ、文字に親しめるよう構成されている。巻末には、索引の一覧、楽譜つきの歌が掲載されており、様々な場面で言語活動に使用できるよう考慮されている。子どもになじみ深い食べ物や飲み物で構成されており、楽しみながら食べ物の名前を学ぶことができるよう工夫されている。	視聴知肢病	C	体裁は 24.2×20.2cm でページ数は 32 ページである。表紙はビニール装丁厚紙で、堅ろうである。平成 10 年(1998 年)発行
	内田 麟太郎作 降矢 なな 絵				
	1, 000				
教科名		社会			
絵でわかる こどものせいがかつ ずかん 3 おでかけのきほん	合同出版	場面別の基本的な生活習慣を学ぶことにより、身の回りの生活に対する関心が高まるよう構成されている。外出時の準備や行き先別など 20 の場面が見開きページに簡潔な説明とイラストで構成され、理解しやすいよう配慮されている。	視聴知肢病	B	体裁は 20.6×26.4cm でページ数は 45 ページである。表紙は厚紙で、堅ろうである。平成 24 年(2012 年)発行
	谷田貝 公昭 村越 晃 監修				
	1, 400				

教科名		社会				備考
書名	発行者 著者名 価格	取扱内容 内容の程度・排列・分量等 使用上の配慮等	障害の種類	発達の段階		
					学校では教えてくれない大切なこと(2) 友だち関係 ～自分と仲良く～	旺文社 旺文社編 850
旺文社 旺文社編 850	子どもが感じる気持ちの解説を通して、身近な人々とのかわりなど、気持ちの伝え方について理解し、表現できるよう構成されている。 子どもが経験する場面と関連付けて例示されており、生活経験に応じて学習できるよう配慮されている。 子どもが身近に感じられる登場人物やストーリーがマンガで描かれており、興味・関心を引くよう工夫されている。					
よくみるよくきくよくする絵本(9) たべものことからだ	婦人之友 自由学園 幼児生活団 900	人の体のつくりのうち、消化器に関する説明を通して、動物の活動や成長に関する学習ができるよう構成されている。 人の体の仕組みや習慣が、身近な動物などと比較されており、興味や関心をもって学習することができるよう配慮されている。 文章が平仮名と片仮名で書かれており、子どもにも読みやすいよう編集されている。	視聴知肢病	C	体裁は21.0×21.0cmで、ペーヅ数は28ペーヅである。表紙は厚く堅ろうである。昭和47年(1972年)発行 一部のイラスト等に現代の生活習慣と合わない部分があるため、指導の際には注意が必要。	
	教科名					理科

教科名		音楽			備考
書名	発行者	取扱い内容 内容の程度・排列・分量等 使用上の配慮等	障害の種類	発達の段階	
おととあそぼう シリーズ(31) おてほんのうたが ながれる てあそびうたえほん	ポプラ社 阿部直美 監修 1, 780	手遊び歌を聴きながら音楽に楽しく関わり、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培うよう構成されている。見開きページに歌詞と手遊びの手順が明るい色彩の挿絵で描かれており、子どもが興味・関心をもてるよう配慮されている。 曲の選定や歌とカラオケを選択するボタンが分かりやすいアイコンで示され、操作しやすいよう工夫されている。	視聴知肢病	A	体裁は 21.0×15.0cm でページ数は 51 ページである。表紙はビニール装丁厚紙で、堅ろうである。平成 22 年(2010 年)発行
教科名	教科名	家庭 技術・家庭 職業・家庭			
おてつだいの絵本	金の星社 辰巳渚 すみもとななみ 絵 1, 400	家庭の中の自分の役割と家庭生活についての基礎的な理解ができるよう場面別に「おてつだい」の例が示され、生活に必要な基本的な技能に気付くように構成されている。具体的な手立てやマナーがイラストと文で説明され、子どもがイメージしやすいよう配慮されている。 イラストを多く用いた紙面構成であり、様々な生活年齢の子どもが見通しをもって理解できるよう工夫されている。 衣食住に関する問いについて考えることを通して、家族や自分の役割等について理解できるよう構成されている。 1 項目 4 ページの中に記述欄が設けられるなど、生徒が主体的に学習できるよう配慮されている。 各項目は、ルビ付きで読みやすい文章による解説を基本に、写真やイラストなども活用して子どもに分かりやすいよう工夫されている。	視聴知肢病	C	体裁は 23.5×23.6cm でページ数は 48 ページである。表紙はビニール装丁厚紙で、堅ろうである。平成 26 年(2014 年)発行
職業・家庭 たのしい家庭科 わたしのくらしに 生かす	開隆堂出版 全国特別支援教育・知的障害教育研究会 編著 1, 800		視聴知肢病	C	体裁は B 5 判で、ページ数は 63 ページである。表紙はビニール装丁で堅ろうである。平成 28 年(2016 年)発行

教科名		家庭 技術・家庭 職業・家庭			
書名	発行者	取扱内容 内容の程度・排列・分量等 使用上の配慮等	障害の種類	発達の段階	備考
	著者名				
くらしに役立つ 家庭	東洋館出版社	家庭分野で学習する「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」の内容を系統的に学習できるよう構成されている。 学んだことを振り返る問いが掲載されており、自分の生活に生かすことができるよう配慮されている。 各章は、文章による解説を基本に、写真やイラストを活用して子どもに分かりやすいよう工夫されている。	視 聴 知 肢 病	C	体裁はB5判で、ページ数は63ページである。表紙はビニール装丁で堅ろうである。平成25年(2013年)発行
	石塚 謙二 太田 正己 監修				